

文化スポーツ観光部

その他事業

令和6年度 事務事業等の総点検																													
その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	1	説明資料	17	項目番号	2(1)															
事務事業名	企画課一般事務費										所管部課名	文化スポーツ観光部 企画課																	
(1) 事務事業の概要																													
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし		事業終了の見込		未定																				
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務																												
根拠法令																													
事業目的	企画課及び部全体における事務を円滑に進める										分野別計画																		
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務																												
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																													
区 分					令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位																				
a 事業費（予算現額・支出済額）					645	1,397	846	1,538	千円																				
b 人件費					10,864	10,991	16,018	16,168	千円																				
正社員					1.2	1.2	1.8	1.8	人																				
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																				
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					850	874	905	960	千円																				
総経費（a + b）					11,509	12,388	16,864	17,706	千円																				
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																													
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和3年度決算</td><td>645</td><td>10,864</td><td>11,509</td></tr><tr><td>令和4年度決算</td><td>1,397</td><td>10,991</td><td>12,388</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>846</td><td>16,018</td><td>16,864</td></tr></tbody></table>														年度	事業費	人件費	総経費	令和3年度決算	645	10,864	11,509	令和4年度決算	1,397	10,991	12,388	令和5年度決算	846	16,018	16,864
年度	事業費	人件費	総経費																										
令和3年度決算	645	10,864	11,509																										
令和4年度決算	1,397	10,991	12,388																										
令和5年度決算	846	16,018	16,864																										
令和3年度の活動実績				令和4年度の活動実績				令和5年度の活動実績																					
特になし(内部管理費のみ)				特になし(内部管理費のみ)				特になし(内部管理費のみ)																					
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	特になし																												
今後の事業の方向性	社会状況に応じて見直しを行い、効率的に事務執行する。																												

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	説明資料	22	項目番号	2(1)															
事務事業名	文化行政推進事業										所管部課名	文化スポーツ観光部																	
												文化振興課																	
(1) 事務事業の概要																													
実施分類	直営	財源構成		市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																												
根拠法令																													
事業目的	文化行政の総合的な企画、調整及び推進を図る。										分野別計画																		
事業目的																													
具体的な事業内容	・文化振興の基本的事項に関し、市長の諮問に応ずるため、横須賀市文化振興条例第13条に基づき、附属機関として横須賀市文化振興審議会を設置し、その運営を行う(委員数10人以内。委嘱や市民公募委員の選定も含む)。 ・4年に1回、文化振興基本計画の改訂、毎年文化振興基本計画の進捗管理を行う。 ・文化行政専門委員の委嘱(文化行政の推進にあたり、専門的な立場からの指導・助言を得るため、文化行政専門委員を委嘱する)を行う。 ・團伊玖磨氏から寄贈された楽譜等の管理を行う。																												
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																													
区 分						令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位																			
a 事業費(予算現額・支出済額)						558	680	535	713	千円																			
b 人件費						1,669	1,686	1,679	1,690	千円																			
正規職員						0.2	0.2	0.2	0.2	人																			
再任用職員(短時間を含む)										人																			
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)										千円																			
総経費(a + b)						2,227	2,366	2,214	2,403	千円																			
(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)																													
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和3年度決算</td><td>558</td><td>1,669</td><td>2,227</td></tr><tr><td>令和4年度決算</td><td>680</td><td>1,686</td><td>2,366</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>535</td><td>1,679</td><td>2,214</td></tr></tbody></table>														年度	事業費	人件費	総経費	令和3年度決算	558	1,669	2,227	令和4年度決算	680	1,686	2,366	令和5年度決算	535	1,679	2,214
年度	事業費	人件費	総経費																										
令和3年度決算	558	1,669	2,227																										
令和4年度決算	680	1,686	2,366																										
令和5年度決算	535	1,679	2,214																										

令和 3 年度の活動実績		令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
・文化振興審議会の実施(1回) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次期文化振興基本計画の策定を次年度に見送り、4回の予定を1回にして開催(書面開催)		・文化振興審議会の実施(3回) 次期文化振興基本計画の策定を行った。	・文化振興審議会の実施(1回)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R3→R4】R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回の開催(書面開催)だったが、R4年度は、R3年度に策定予定であった次期計画の策定を行ったため、審議会の開催を増やした(1回→3回) 【R4→R5】次期計画(計画期間: R5年度～R11年度)の審議がR4年度に終了したため、審議会の開催数減(3回→1回)		
今後の事業 の方向性	新しく策定した次期文化振興基本計画をもとに、文化振興審議会や文化行政専門委員からの助言を活用して、他部局と調整して横須賀の文化振興行政を運営していく。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	22	項目番号	2(2)
-------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	市民文化資産等保存振興事業	所管部課名	文化スポーツ観光部
			文化振興課

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
------	----	------	----	-------	----	---------	----	--

分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務
----	---

根拠法令	
------	--

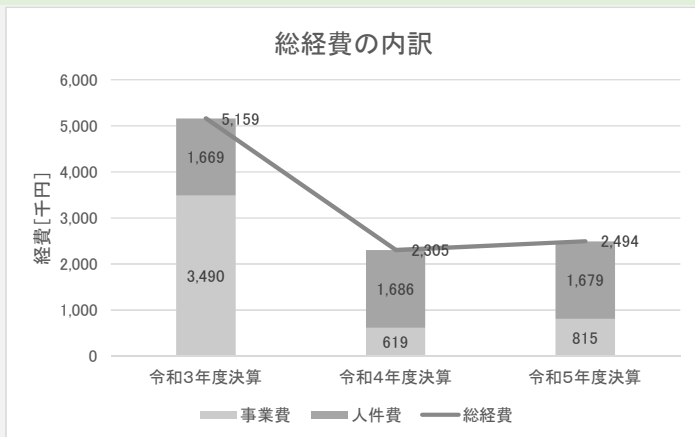
事業目的	横須賀市文化振興条例第12条「市民文化資産の指定等」の規定に基づき、本市の文化振興に資する市民文化資産の保存・活用を図る。	分野別計画	

具体的な事業内容	市民文化資産の保存・活用を行うため、以下の事業を実施している。 ・市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金の支給。（有形文化資産・建造物：60,000円、有形文化資産・建造物以外：20,000円） ・市民文化資産の修理に対する補助金の交付。（修理に要する費用のうち、10万円を超えた部分の2分の1以内の額で300万円を限度） ・新たな市民文化資産指定のため、指定候補の選定作業を調査員に依頼。 ・市民文化資産の説明板の修理等（必要に応じて張り替え、修理等を実施） ・指定件数24件（建造物8件、建造物以外16件：令和4年4月現在）
----------	---

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	3,490	619	815	1,025	千円
b 人件費	1,669	1,686	1,679	1,690	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	5,159	2,305	2,494	2,715	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア) 建造物4件 240,000円 (イ) 建造物以外 240,000円 ②市民文化資産の修理等に対する補助金 3,000,000円	①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア) 建造物4件 240,000円 (イ) 建造物以外 240,000円 ②案内板の修繕・設置 128,700円	①市民文化資産の所有者・管理者への管理奨励金 (ア) 建造物4件 240,000円 (イ) 建造物以外 240,000円 ②案内板の修繕・設置 128,700円 ③市民文化資産(永島家の長屋門)の修繕 197,000円
--	--	--

年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R3→R4】R4年度は案内板の修繕を1基行ったが、R3年度にあった修理に対する補助金300万の対象がなく全体として減 【R4→R5】R5年度はR4年度と同様に案内板の修繕を1基行ったほか、臨時的な修繕(屋根瓦の補修)に対する補助金支出があったため、支出増
---	--

今後の事業 の方向性	今後も地域の文化的遺産の保存・活用を図るため、継続して事業を実施する必要がある
---------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	説明資料	23	項目番号	2(3)																
事務事業名	明日の文化活動担い手育成事業										所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営		財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令																														
事業目的	将来の文化活動の担い手となる子どもたちの文化への関心を高めるため、子どもを対象として、文化活動に触れる機会や歴史を知る機会を提供する										分野別計画																			
具体的な事業内容	・伝統芸能ワークショップの開催 ・子ども向け歴史小冊子等の発行 ・出前授業の開催																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					294	782	1,563	1,688	千円																					
b 人件費					1,669	1,686	1,679	1,690	千円																					
正規職員					0.2	0.2	0.2	0.2	人																					
再任用職員（短時間を含む）									人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）									千円																					
総経費（a + b）					1,963	2,468	3,242	3,378	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和3年度決算</td><td>294</td><td>1,669</td><td>1,963</td></tr><tr><td>令和4年度決算</td><td>782</td><td>1,686</td><td>2,468</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>1,563</td><td>1,679</td><td>3,242</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和3年度決算	294	1,669	1,963	令和4年度決算	782	1,686	2,468	令和5年度決算	1,563	1,679	3,242
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和3年度決算	294	1,669	1,963																											
令和4年度決算	782	1,686	2,468																											
令和5年度決算	1,563	1,679	3,242																											
令和 3 年度の活動実績					令和 4 年度の活動実績					令和 5 年度の活動実績																				
①伝統芸能ワークショップの開催 ②子ども向け小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷 ※ファミリーコンサートは市民文化活動推進事業(文化事業推進委託)へ移管					①伝統芸能ワークショップの開催 ②子ども向け小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷 ③子ども向け小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の増刷 ④リーフレット「近代日本のルーツ横須賀製鉄所」の増刷 ⑤出前授業の実施					①伝統芸能ワークショップの開催 ②小冊子「横須賀ゆかりの歴史上の人物」の増刷 ③小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」の増刷 ④小冊子「ペリーと横須賀」の増刷 ⑤小冊子「三浦一族の歴史」の増刷 ⑥出前授業の実施																				
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）		【R3→R4】出前授業をルートミュージアム推進事業から本事業へ、子ども向け小冊子「知っていますか？横須賀製鉄所」を近代歴史遺産活用事業から本事業への移管による増 【R4→R5】小冊子「ペリーと横須賀」の在庫減による増刷、および小冊子「三浦一族の歴史」を地域文化振興事業から本事業への移管による増																												
今後の事業の方向性		将来の文化の担い手の育成のため、引き続き取り組みを続けていきたい。																												

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	23	項目番号	2(4)
事務事業名	近代歴史遺産活用事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

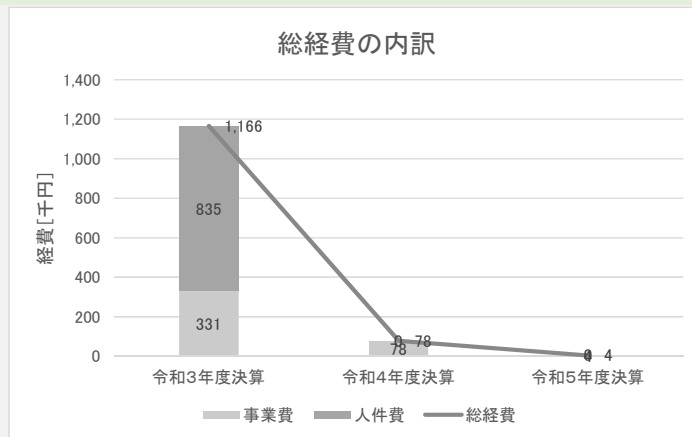
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市に多く点在する近代歴史遺産を次世代へその歴史を伝えていくことを目指す。					分野別計画	
具体的な事業内容	近代歴史遺産をはじめとする本市の歴史の周知と次世代への継承を目的として、出前授業や歴史小冊子の作成や近代歴史遺産活用事業推進協議会の運営を行う(委員数15人以内、委嘱や選定も含む)。 令和4年度、協議会は書面会議を1回開催した。 令和3年度にルートミュージアム推進事業が始まってからはほぼ事業を移管し、この事業では協議会の運営のみとなっている。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	331	78	4	98	千円
b 人件費	835	0	0	0	千円
正規職員	0.1	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	1,166	78	4.0	98	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)



令和 3 年度の活動実績		令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
①近代歴史遺産活用事業推進協議会の開催(1回:書面開催) ②子ども向け小冊子「知っていますか?横須賀製鉄所」の増刷		①近代歴史遺産活用事業推進協議会の開催(1回:書面開催)	なし
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R3→R4】ルートミュージアム構想が本格的に稼働し、ティボディエ邸が開館した令和3年度以降は、ルートミュージアム推進事業でサテライト紹介として対応している。(小冊子発行の移管による減) 【R4→R5】年度末に協議会開催を検討していたが、協議会で取り扱うべき案件等がなかったことにより、協議会会長とも相談した結果、開催を見送った。		
今後の事業 の方向性	協議会開催については、ティボディエ邸開館をはじめ、ルートミュージアム構想が本格稼働したことにより、当面の目的を達成したものと思われる。今後は、必要に応じて開催する予定。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	3(1)
事務事業名	地域文化振興事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

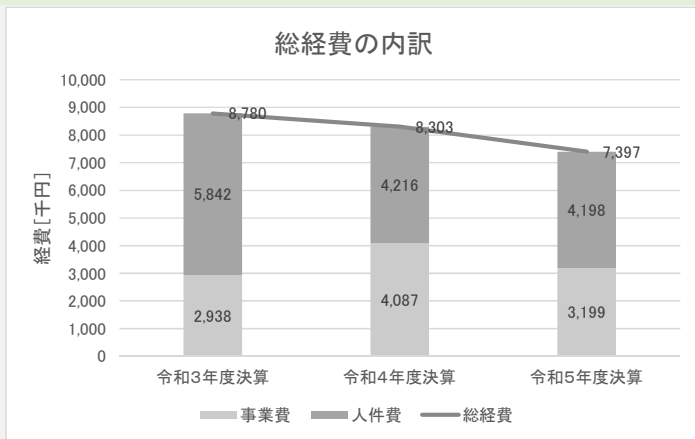
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市の歴史的・地域資源である、「三浦一族の歴史」や「開国期を中心とした歴史」を広く普及させるため、三浦一族・開国史研究会に事業を委託し、歴史の掘り起こしを通じて市民文化の振興と市民の郷土愛の向上を図る。さらに、本市とゆかりのある友好都市との文化交流を支援し、地域間のつながりを深める。					分野別計画	
具体的な事業内容	三浦一族研究会・開国史研究会 ・総会、講演会、各種講座、史跡めぐり等の実施 ・機関誌（年1回）、会報誌の作成・発行 ・その他「三浦一族の歴史」や「開国期」の普及に関すること 友好都市会津若松市への文化交流訪問支援 ・横須賀民謡普及会が会津若松市で開催される「会津まつり・会津磐梯山踊り」に参加し、文化交流を行う。職員が随行する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分		令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a	事業費（予算現額・支出済額）	2,938	4,087	3,199	3,276	千円
b	人件費	5,842	4,216	4,198	4,225	千円
	正規職員	0.7	0.5	0.5	0.5	人
	再任用職員（短時間を含む）					人
	会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）		8,780	8,303	7,397	7,501	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
三浦一族研究会 ※コロナ禍で中止行事あり (1)講演会実施(1回)参加者196名※記念講演中止 (2)講座(5回) 参加者69名※一部中止 (3)機関誌の発行(1,000部) 研究会会員362名 (1)講演会開催(1回)※記念講演中止 開国史研究会 ※コロナ禍で中止行事あり (1)講演会開催(1回)参加者73名※記念講演中止 (2)講座の回数(7回)参加者157名※一部中止及び延期 (3)研究誌の発行(800部) 研究会会員数337名 会津まつりへの随行 (1)新型コロナウイルス感染防止対策のため、県外団体との交流が見合わせとなり、中止となった。	三浦一族研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者585名 (2)講座(29回) 参加者220名 (3)機関誌の発行(550部) 研究会会員数372名 開国史研究会 (1)講演会開催(2回) 参加者290名 (2)講座の回数(8回) 参加者214名 (3)研究誌の発行(700部) 研究会会員数277名 「三浦一族の歴史」小冊子製作 (1)発行 15,600部 会津まつりへの随行 (1)交流予定だった民謡団体が、新型コロナウイルス感染防止対策のため、交流をキャンセルしたため中止となった。	三浦一族研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者300名 (2)講座(29回) 参加者268名 (3)機関誌の発行(620部) 研究会会員数394名 開国史研究会 (1)講演会実施(2回) 参加者245名 (2)講座(9回) 参加者154名 (3)機関誌の発行(500部) 研究会会員249名 会津まつりへの随行 (1)参加者「横須賀民謡普及会」29名・市職員2名
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R3→R4】職員数の減少により人件費は減少したが、新たに三浦一族の歴史を紹介する冊子を制作したため、令和3年度より事業費は増加した。 【R4→R5】事業見直しによる三浦一族・開国史研究会への委託料の削減、および「三浦一族の歴史」小冊子増刷が「明日の文化担い手事業」へ移管したことにより事業費が減少した。	
今後の事業 の方向性	三浦一族・開国史研究会へ委託している史実の普及事業は、事業見直しにより、委託金を段階的に減らしている。 また、「会津文化交流訪問」に関しても、事業見直しにより、令和5年度をもって終了した。(本来は、令和4年度で終了の予定だったが、参加予定団体の意向により参加を見送ったため、令和5年度へ延期)	

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	26	項目番号	3(2)
事務事業名	市民文化活動推進事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

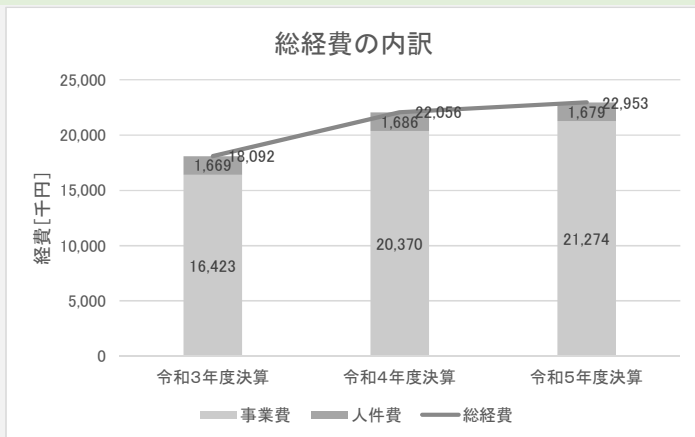
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	市民に日頃の文化活動の成果の発表の機会および芸術文化鑑賞の機会を提供するなど、市民ニーズに適した各種の文化事業を実施し、市民の文化活動を支援する。					分野別計画		
具体的な事業内容	効率的な運営を図るため、事業を(公財)横須賀市生涯学習財団に委託する。事業内容等は以下のとおり。 ・市民文化祭の開催(18行事、春と秋に開催、入場者数約11,000人) ・組曲「横須賀」演奏会(年1回、入場者数約600人) ・市民音楽のつどい(年1回、入場者数約600人) ・市民合唱のつどい(年1回、入場者数約1,300人) ・カジュアルコンサート(年1回、入場者数約1,000人) ・ファミリーコンサート(年1回、入場者数約1,100人)							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分		令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a	事業費（予算現額・支出済額）	16,423	20,370	21,274	21,343	千円
b	人件費	1,669	1,686	1,679	1,690	千円
	正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
	再任用職員（短時間を含む）					人
	会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）		18,092	22,056	22,953	23,033	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
(ア)市民文化祭 14行事(春季:1、秋季:13) 入場者:4,828人 参加者:1,891人 (イ)第37回組曲「横須賀」演奏会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (ウ)第44回市民音楽のつどい 7月4日 入場者:211人 出演者:124人 (エ)第46回市民合唱のつどい 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (オ)カジュアルコンサート 令和4年1月23日 入場者:534人 出演者:100人	(ア)市民文化祭 18行事(春季:1、秋季:17) 入場者:11,035人 参加者:3,502人 (イ)第37回組曲「横須賀」演奏会 4月30日 入場者:550人 参加者:206人 (ウ)第45回市民音楽のつどい 6月12日 入場者:526人 出演者:194人 (エ)第46回市民合唱のつどい 11月4日5日 入場者:1,227人 出演者:900人 (オ)カジュアルコンサート 令和5年1月22日 入場者:978人 出演者:100人 (カ)ファミリーコンサート 令和5年3月18日 入場者:1,093人 出演者:100人	(ア)市民文化祭 21行事(春季:2、秋季:19) 入場者:8,690人 参加者:3,675人 (イ)第38回組曲「横須賀」演奏会 5月3日 入場者:703人 参加者:231人 (ウ)第46回市民音楽のつどい 6月11日 入場者:635人 出演者:245人 (エ)第47回市民合唱のつどい 11月4日5日 入場者:1,361人 出演者:876人 (オ)カジュアルコンサート 令和6年1月21日 入場者:1,063人 出演者:100人 (カ)ファミリーコンサート 令和6年3月17日 入場者:1,094人 出演者:100人
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R3→R4】令和3年度と比較して、大きな行事も無事に開催できたため、執行額は増えている。令和3年度に実施を見送ったファミリーコンサートについても実施した。 【R4→R5】全事業を実施したため執行額は増えている。	
今後の事業 の方向性	市民の文化活動を推進するため、継続していく。	

令和6年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	27	項目番号	3(3)
事務事業名	文化団体支援事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

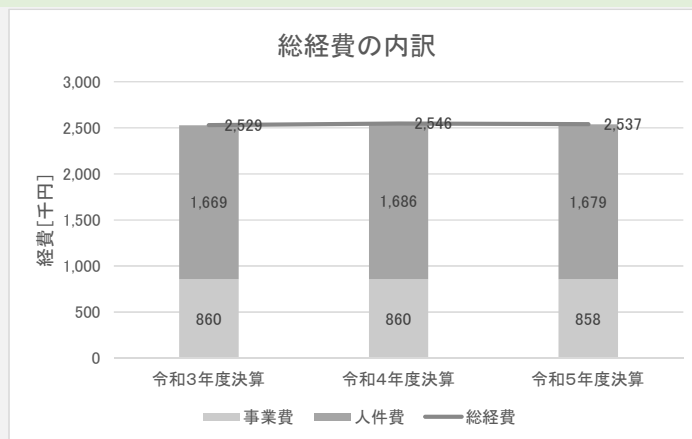
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市内の文化団体の活動に対し、支援・補助を行うことにより、本市の文化活動の活性化を目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	・文化団体が主催する事業に対して、市の共催・後援名義の使用を承諾し、文化団体の活動を支援する。 ・共催・後援名義の使用を承諾した事業のうち、公募作品展などに対して、市長賞として賞状および桶等の賞品を交付する。 ・市内の各種文化団体を統括する横須賀文化協会に補助金を交付することで、横須賀文化協会の活動を促進する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	860	860	858	882	千円
b 人件費	1,669	1,686	1,679	1,690	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a ＋ b）	2,529	2,546	2,537	2,572	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)



令和 3 年度の活動実績		令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
・共催及び後援名義承諾件数 41件(共催:2件、後援:39件) ・市長賞交付件数 賞状7件(内、楯:1件、トロフィー:1件) ・横須賀文化協会補助金 1件(840,000円)		・共催及び後援名義承諾件数 71件(共催:6件、後援:65件) ・市長賞交付件数 賞状8件(内、楯:2件、トロフィー:1件) ・横須賀文化協会補助金 1件(840,000円)	・共催及び後援名義承諾件数 72件(共催:3件、後援:69件) ・市長賞交付件数 賞状8件(内、楯:2件) ・横須賀文化協会補助金 1件(840,000円)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R3→R4】後援名義の件数は増えたが、賞賜や文化協会への補助はほぼ増減なし。 【R4→R5】文化団体活動補助金(文化協会)は、前年度同様、上限額(84万円)を支給した。市長賞副賞の交付件数はやや減っているが、総経費はほぼ増減なし。		
今後の事業 の方向性	市民の文化団体の活動を支援するため、継続する。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	説明資料	28	項目番号	4(1)
-------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	歴史文化基金積立金	所管部課名	文化スポーツ観光部
			文化振興課

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
------	----	------	----	-------	----	---------	----

分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務
----	---

根拠法令	
------	--

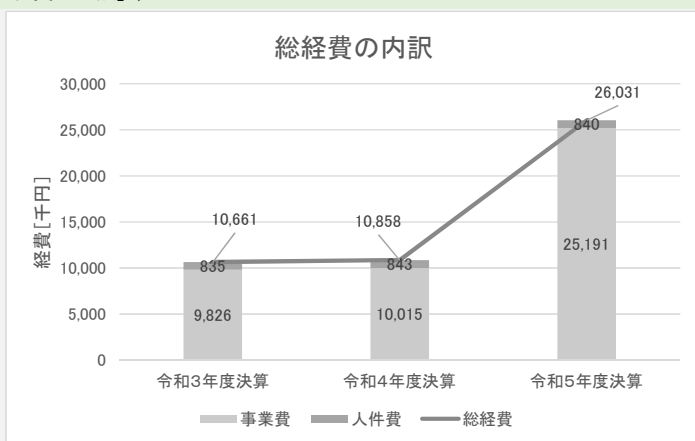
事業目的	歴史文化基金の利子及びふるさと納税での寄附等を歴史文化基金に積み立て、文化の継承に資する事業の振興を図る。	分野別計画	

具体的な事業内容	歴史文化基金の利子及びふるさと納税での寄附等を、歴史文化基金へ積み立てる。 歴史文化基金は、市民文化資産保存振興事業のほか、明日の文化活動担い手育成事業、文化財に関する事業などへ活用することにより、文化の継承に資する事業の振興を図るための財源となっている。
----------	--

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	9,826	10,015	25,191	25,191	千円
b 人件費	835	843	840	845	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	10,661	10,858	26,031	26,036	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

・歴史文化基金利子収入 1,201円 ・ふるさと納税 142件 9,825,000円 合計 9,826,201円	・歴史文化基金利子収入 438円 ・ふるさと納税 171件 10,015,000円 合計 10,015,438円	・歴史文化基金利子収入 4,719円 ・ふるさと納税 25,102,500円 ・指定寄附分の積立(文化財保護整備事業) 84,128円 合計 25,191,347円
---	---	--

年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	【R3→R4】令和4年度は、令和3年度以上のふるさと納税の寄附額で、増収が続いている。 【R4→R5】ふるさと納税の寄附額の収入増に伴い、積立金も増加している。
---	--

今後の事業 の方向性	地元の歴史文化の継承に資するための基金として、引き続き取り組んでいきたい。
---------------	---------------------------------------

令和6年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	説明資料	28	項目番号	5(1)																
事務事業名	文化振興課一般事務										所管部課名	文化スポーツ観光部 文化振興課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込		未定																						
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令																														
事業目的	文化振興課における事務を円滑に進める										分野別計画																			
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					194	181	114	130	千円																					
b 人件費					3,448	3,485	3,520	3,538	千円																					
正規職員					0.3	0.3	0.3	0.3	人																					
再任用職員（短時間を含む）									人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					944	956	1,001	1,003	千円																					
総経費（a + b）					3,642	3,666	3,634	3,668	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費 (千円)</th><th>人件費 (千円)</th><th>総経費 (千円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和3年度決算</td><td>194</td><td>3,448</td><td>3,642</td></tr><tr><td>令和4年度決算</td><td>181</td><td>3,485</td><td>3,666</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>114</td><td>3,520</td><td>3,634</td></tr></tbody></table>															年度	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)	令和3年度決算	194	3,448	3,642	令和4年度決算	181	3,485	3,666	令和5年度決算	114	3,520	3,634
年度	事業費 (千円)	人件費 (千円)	総経費 (千円)																											
令和3年度決算	194	3,448	3,642																											
令和4年度決算	181	3,485	3,666																											
令和5年度決算	114	3,520	3,634																											
令和2年度の活動実績					令和3年度の活動実績					令和4年度の活動実績																				
特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	特になし																													
今後の事業の方向性	社会状況に応じて見直しを行い、効率的に事務執行する。																													

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	29	項目番号	1(1)
事務事業名	芸術劇場管理事業									所管部課名	文化スポーツ観光部		
											文化振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財産構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市の文化施設として横須賀芸術劇場、文化会館、はまゆう会館の3館の管理運営をしているが、芸術劇場は市民が舞台・音楽芸術を鑑賞する場として、文化会館、はまゆう会館は発表・活動の場として位置づけ、市民文化の向上を目的とする。また、複合施設である「ベイスクエアよこすか一番館」に属して、施設の共有部分の管理においても重要な位置を占めている。					分野別計画	
具体的な事業内容	芸術劇場は、公共性、文化性が高い事業を施設管理と一体となって実施し、利用料金収入と指定管理料を財源に舞台音楽芸術普及事業、育成事業、各種サービス事業を展開している。平成18年度から指定管理者制度が導入され、指定管理者による管理運営となった。直近では令和4年に公募による指定管理者選定を実施し、公益財団法人横須賀芸術文化財団が選ばれ、現在も運営している。また、複合施設であるベイスクエアよこすか一番館に属するため、施設の共有部分の管理にかかる経費を所有割合に応じて市が負担している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	615,992	562,037	570,311	595,607	千円
b 人件費	2,504	2,529	2,519	2,535	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	618,496	564,566	572,830	598,142	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金141,346,187円） ・舞台用備品の購入（備品購入費1,944,470円） ・その他事務（70,482,869円）	・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金144,017,836円） ・舞台用備品の購入（備品購入費4,177,140円） ・その他事務（11,623,782円）	・芸術劇場、ベイスクエアパーキングの管理運営（指定管理料402,218,355円） ・ベイスクエアよこすか一番館共用部分の管理（負担金143,338,129円） ・舞台用備品の購入（備品購入費2,190,320円） ・その他事務（995,750円） ・指定管理施設光熱費等補助金（R4年度分）（負担金、補助及び交付金14,659,027円） ※令和4年度からの繰越明許分 ・指定管理施設光熱費等補助金（R5年度分）（負担金、補助及び交付金6,909,219円） ※残りは令和6年度へ繰越明許。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【R3→R4】 ・負担金は、光熱水費の高騰により増額となった。 ・その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填額が前年度に比べ減少した。（67,369,719円→9,021,594円） 【R4→R5】 ・その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填額が前年度に比べ減少した。（9,021,594円→379,100円） ・指定管理施設光熱費等補助金を支出した（R4繰越分14,659,027円、R5現年度分6,909,219円）。	
今後の事業 の方向性	令和6年度より新しい指定管理期間になるため、新たな運営計画の下、新たな芸術劇場としての運営を展開できるよう指定管理者と連携する。また、同じく今年度より予定している特定天井改修工事を適切に進行管理し、来たるリニューアルオープンに向け指定管理者と連携する。	

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	30	項目番号	1(2)
事務事業名	文化会館等管理事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										文化振興課		

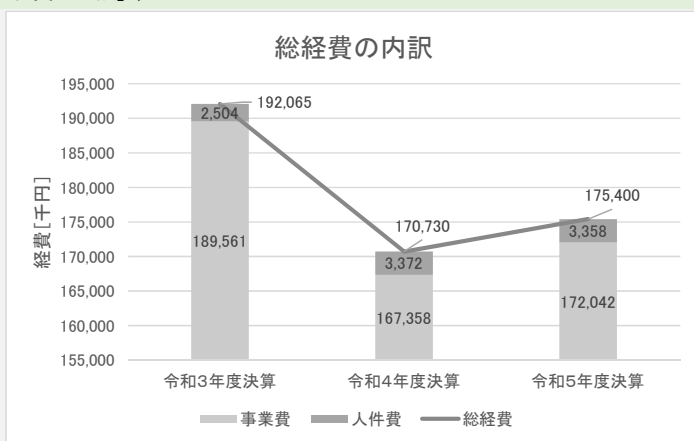
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市の文化施設として横須賀芸術劇場、文化会館、はまゆう会館の3館の管理運営をしているが、芸術劇場は市民が舞台・音楽芸術を鑑賞する場として、文化会館、はまゆう会館は発表・活動の場として位置づけ、市民文化の向上を目的とする。					分野別計画	
具体的な事業内容	文化会館、はまゆう会館は、平成18年度から指定管理者制度が導入され、利用料金収入と指定管理料を財源に指定管理者による管理運営を実施している。直近では、令和3年に公募による指定管理者選定を実施し、よこすか文化パートナーズが選ばれ、現在も運営している。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	189,561	167,358	172,042	179,653	千円
b 人件費	2,504	3,372	3,358	3,380	千円
正規職員	0.3	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	192,065	170,730	175,400	183,033	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績		令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
- 文化会館、はまゆう会館の管理運営 (指定管理料150,399,120円) - 舞台備品の購入 (備品購入費893,200円) - その他事務(38,268,184円)		- 文化会館、はまゆう会館の管理運営 (指定管理料149,999,068円) - PCB廃棄物の処理 (業務委託料726,000円) - その他事務(16,632,896円)	- 文化会館、はまゆう会館の管理運営 (指定管理料149,999,068円) - 舞台備品の購入 (備品購入費2,122,120円) - その他事務(944,980円) - 指定管理施設光熱費等補助金(R4年度分) (負担金、補助及び交付金9,729,590円) ※令和4年度からの繰越明許分 - 指定管理施設光熱費等補助金(R5年度分) (負担金、補助及び交付金9,245,299円) ※残りは令和6年度へ繰越明許。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の 増減理由等)	【R3→R4】 - 指定管理料は新たな指定管理期間開始により額が減少した。 - その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填額が前年度に比べ減少した。 (37,105,343円→13,532,821円) 【R4→R5】 - その他事務費は、新型コロナウイルスの影響に伴う減収に対する補填額が前年度に比べ減少した。 (13,532,821円→900,390円) - 指定管理施設光熱費等補助金を支出した(R4繰越分9,729,590円、R5現年度分9,245,299円)。		
今後の事業 の方向性	文化会館、はまゆう会館の老朽化に伴い、建物の改修等について検討していきつつ、利用者の利便性のさらなる向上を図るとともに、事業内容の更なる検討・改善を重ねながら今後も維持継続していく。		

令和6年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	32	項目番号	2(1)
-------	----	------	---	---	---	---	---	----	------	----	------	------

事務事業名	芸術劇場設備更新事業	所管部課名	文化スポーツ観光部
			文化振興課

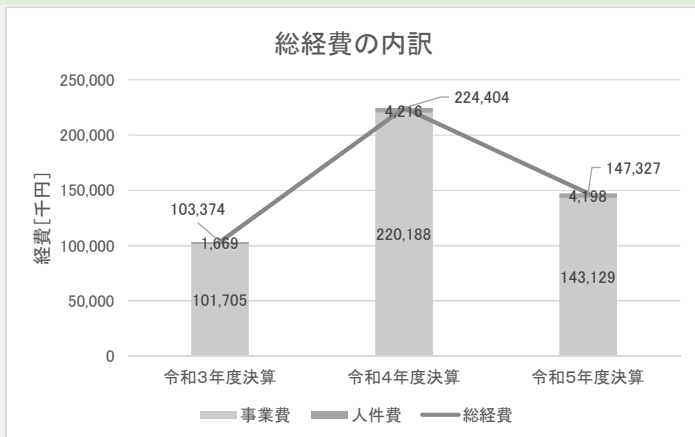
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定	
分類	施設の維持管理に係る業務							
根拠法令								
事業目的	施設が有する舞台機構・施設設備等の維持と安全性を確保するため、指定管理業務の経常的な支出の範囲では賄いきれない規模の修繕・工事を実施することを目的とする。					分野別計画		
具体的な事業内容	各設備の耐用年数や使用状況を考慮した長期的な改修計画を作成し、修繕・工事を実施している。大劇場及び大・小リハーサル室特定天井改修工事に向け、R3(R4に繰越明許)に基本設計業務を実施、R4(R5に繰越明許)に実施設計業務を実施し、R6より特定天井改修工事を実施する(R7継続事業)							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	101,705	220,188	143,129	146,838	千円
b 人件費	1,669	4,216	4,198	4,225	千円
正規職員	0.2	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	103,374	224,404	147,327	151,063	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

・舞台機構設備修繕(70,400,000円) ・舞台照明設備修繕(1,829,300円) ・建物設備修繕(26,875,200円) ・その他事務(2,600,000円) ※天井改修工事基本設計(業務委託料31,300,000円) は令和4年度に全額繰越明許。	・舞台機構設備修繕(30,800,000円) ・舞台音響設備修繕(89,100,000円) ・建物設備工事・修繕(71,588,000円) ・天井改修工事関連 基本設計(15,400,000円) ※令和3年度からの繰越明許分。 実施設計前払金(13,300,000円) ※残りは令和5年度へ繰越明許。	・舞台音響設備修繕(10,010,000円) ・建物設備工事・修繕(101,827,000円) ・天井改修工事関連 実施設計(31,291,965円) ※令和4年度からの繰越明許分
---	---	--

年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の 増減理由等)	毎年の修繕箇所や規模が違うことにより金額に差異が生じる。 令和6年度、7年度に計画している天井改修工事の準備段階として、令和4年度、5年度に設計費用(業務委託料)が発生した。
---	---

今後の事業 の方向性	計画的な修繕等は実施しているが、経年的な劣化は避けられない。令和6年度、7年度に計画している特定天井の改修工事の実施に合わせ、その他付随する箇所の修繕を計画的に実施する必要がある。
-----------------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	14	説明資料	32	項目番号	2(2)
-------	----	------	---	---	---	---	---	----	------	----	------	------

事務事業名	文化会館等設備更新事業	所管部課名	文化スポーツ観光部
			文化振興課

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
------	------	------	----	-------	----	---------	----

分類	施設の維持管理に係る業務
----	--------------

根拠法令	
------	--

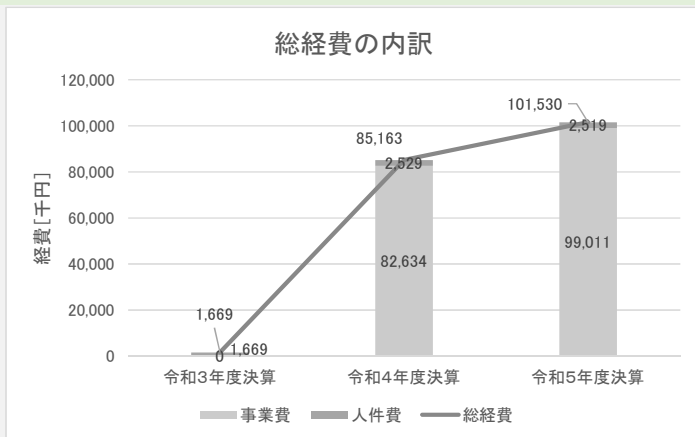
事業目的	施設が有する舞台機構・施設設備等の維持と安全性を確保するため、指定管理業務の経常的な支出の範囲では賄いきれない規模の修繕・工事を実施することを目的とする。	分野別計画	

具体的な事業内容	各設備の耐用年数や使用状況を考慮した長期的な改修計画を作成し、修繕・工事を実施している。
----------	--

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	82,634	99,011	158,333	千円
b 人件費	1,669	2,529	2,519	2,535	千円
正規職員	0.2	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	1,669	85,163	101,530	160,868	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

なし ※建物設備修繕(22,289,000円)は令和4年度に全額繰越明許。	・舞台音響設備修繕(2,134,000円) ・建物設備修繕(19,800,000円) ※令和3年度からの繰越明許分。 ・建物設備工事前払金(60,700,000円) ※残りは令和5年度へ繰越明許。 ・その他事務(0円) ※手数料(39,000円)を令和5年度に繰越明許。	・建物設備修繕(6,105,000円) ・その他事務費(38,500円) ・建物設備工事(92,866,600円) ※令和4年度からの繰越明許分。
--	---	--

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	毎年の修繕箇所や規模が違うことにより金額に差異が生じる。 令和4年度に予定していた文化会館の建物設備工事が年度内に業務が終了しなかったことにより、工事請負費とそれに付随する検査費用を令和5年度に繰り越したうえで実施した。
--------------------------------	--

今後の事業 の方向性	計画的な修繕等は実施しているが、経年的な劣化は避けられない。費用が圧縮できるよう関係者で協議を継続していくほか、建物の改修等についても検討していく必要がある。
-----------------------	--

令和6年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	35	項目番号	2(2)
事務事業名	美術館教育普及事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 美術館運営課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	美術への理解を深め、美術館への親しみが持てるように、講演会やワークショップを開催するとともに、要望に応じた鑑賞補助プログラムや、学校と連携した鑑賞教育を実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・講演会、ワークショップ、ギャラリートーク等教育普及事業の実施。 ・美術館ボランティアに対する研修およびイベント開催のサポート。 ・作品理解や展覧会理解のための印刷物、動画等のコンテンツ制作。 ・小学生美術鑑賞会等の学校連携事業。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,044	4,983	5,335	5,789	千円
b 人件費	16,512	16,644	16,817	16,900	千円
正規職員	1.6	1.6	1.6	1.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	3,160	3,154	3,383	3,382	千円
総経費（a + b）	20,556	21,627	22,152	22,689	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業を中止し、代替えとして動画等を制作した。 (1) 展覧会関連の教育普及事業 ワークショップ6回 参加者計68人 野外ワークショップ・イベント3回 参加者計1125人 オンライン講演会・トーク動画の制作と公開16本 ZOOMワークショップ2回 参加者計15人 ワークショップ・パフォーマンス動画の制作と公開7本 (2) 展覧会関連以外の教育普及事業 ワークショップ5回 参加者計65人 ZOOMワークショップ1回 参加者計17人 映画会・野外イベント5回 参加者計2695人 WEBトーク・ワークショップの制作と公開 7本 (3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 70団体。総参加者数4209人。	対面型の事業を再導入しつつ、一部で、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、動画等オンラインを活用した教育普及事業を行った。 (1) 展覧会関連の教育普及事業 講演会、対談13回 (配信2シリーズを含む) 参加者計554人 ワークショップ7回 参加者計86人 パフォーマンス・イベント(能楽)1回 参加者計91人 (2) 展覧会関連以外の教育普及事業 ワークショップ21回 参加者計240人 映画会4回 参加者計379人 ボランティア・イベント8回 参加者計563人 農水産業振興課との連携イベント2回 参加者計581人 (3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 89団体。総参加者数3842人	対面型の事業を全面的に再開し、講演会やワークショップに加え、音楽会やライブペインティングなど幅広い事業を行った。 (1) 展覧会関連の教育普及事業 講演会7回 参加者計338人 ワークショップ8回 参加者計124人 音楽会、ライブペインティングなど5回 参加者計334人 ギャリリートーク(学芸員)4回 参加者計49人 (2) 展覧会以外の教育普及事業 ワークショップ20回 参加者計344人 映画会4回 参加者計609人 ボランティア・イベント9回 参加者数計245人 農水産業振興課との連携イベント2回 (3) 小学生美術鑑賞会等の学校団体受け入れ 88団体。総参加者数3508人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度は、感染症拡大防止の観点から、事業の規模縮小やオンライン事業の導入による形式変更などにより、中止以外の選択肢を模索した。令和4年度は、感染症の拡大が緩やかになったことを受け、それまで中止としてきた対面型の事業を多く復活させた。令和5年度は、対面型を全面的に復活させるとともに、音楽会やライブペインティングなど幅広い事業を実施した。事業費は、このような実施状況を反映し、令和3年度以降、次第に増えてコロナ禍以前の水準に戻っている。
今後の事業 の方向性	事業目的を達成するために、未就学児や児童生徒、成人、高齢者など幅広い世代のニーズを把握するよう努め、講演会やワークショップなどのイベントの企画に活かす。また、随時来館する団体などに対しても細やかに対応をすることで、新規の来館者を増やすとともに、リピーターの獲得を目指してゆく。

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	35	項目番号	2(3)
-------	----	------	---	---	---	---	---	----	------	----	------	------

事務事業名	美術品収集管理保管事業	所管部課名	文化スポーツ観光部
			美術館運営課

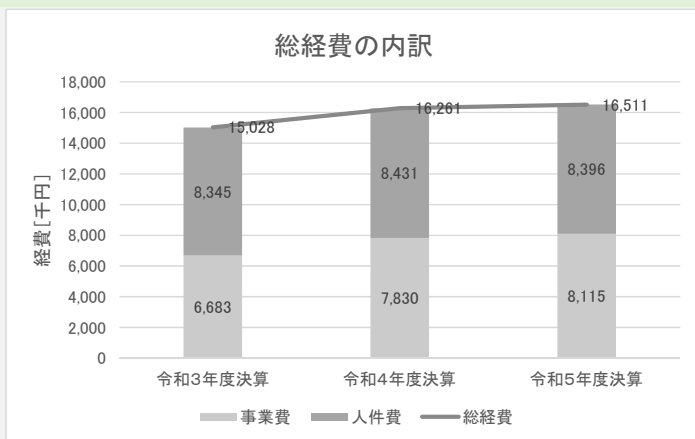
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	所蔵作品を館内外の展示等で有効に活用するため、美術館の使命の一つである美術品の収集、保存、管理を適切に行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・美術品収集（購入、寄贈等）およびそのための調査 ・横須賀美術館美術品評価委員会の開催 ・所蔵作品の修復および額装 ・所蔵作品の貸し出し ・収蔵・展示施設の環境調査						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	6,683	7,830	8,115	8,394	千円
b 人件費	8,345	8,431	8,396	8,449	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	15,028	16,261	16,511	16,843	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

・美術品の整理 修復3点、額装11点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入1点、寄贈3点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 3件、貸出点数4点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。	・美術品の整理 修復1点、額装7点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入2点、寄贈18点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 5件、貸出点数68点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。 ・虫害防除 1回	・美術品の整理 修復1点、額装49点。 ・美術品評価委員会の開催 1回。 ・作品の受け入れ 購入20点、寄贈343点。 ・他の美術館等への美術品の貸出 5件、貸出点数18点。 ・環境調査 2回(昆虫類調査、菌類調査、気相調査)。
--	---	--

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和元年度に設置したふるさと納税等の寄附による美術品等取得基金を財源とし、令和3年度以降美術品を購入している。3年間の購入費はそれぞれ1,800、2,500、3,300(千円)であり、このことが事業費の増加に反映されている。ただし、令和4年度に実施した虫害防除を実施しなかったことなどから、令和5年度の事業費は微増にとどまっている。
--	---

今後の事業 の方向性	収集方針に即した体系的な収集につとめる。 一方で、有限である収蔵施設の空間と環境を適正な状態に保つため、作品の整理整頓および清掃等を継続して行う。 所蔵作品について、必要な写真撮影等を含む情報の整理、データベースの公開を進め、さらなる活用につなげる。
-----------------------	--

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	36	項目番号	2(4)
-------	----	------	---	---	---	---	---	----	------	----	------	------

事務事業名	美術館運営事業	所管部課名	文化スポーツ観光部
			美術館運営課

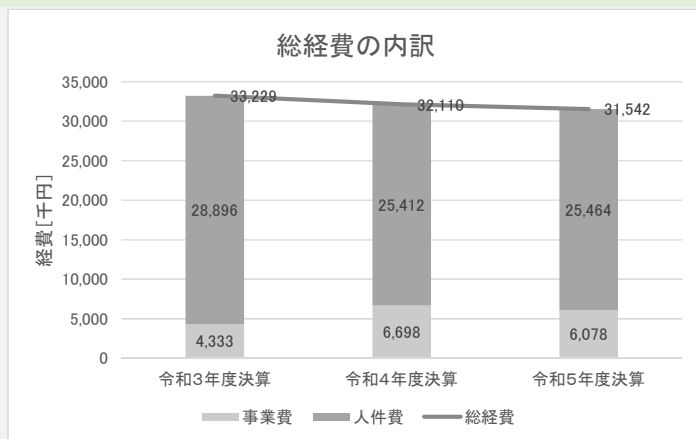
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	図書室の運営のほか、美術館運営評価制度の運用、広報宣伝事業、全館共通印刷物制作、地域連携など館全体に関わる事業を実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・図書室の運営に係る会計年度任用職員の雇用、美術図書の購入や収集調査 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館ニュースの発行 ・広報物の送付やツイッター等SNSの運用、交通広告やメディアへの広告や取材対応 ・団体観覧への対応、地域との連携事業						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,333	6,698	6,078	12,784	千円
b 人件費	28,896	25,412	25,464	25,337	千円
正規職員	2.3	1.8	1.8	1.8	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	9,702	10,236	10,351	10,129	千円
総経費（a + b）	33,229	32,110	31,542	38,121	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

・図書資料の収集 805冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、ツイッター等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 367件、テレビ・ラジオ放送 13件 ・商業撮影 40件 ・団体観覧の受入 2,306人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催	・図書資料の収集 677冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、ツイッター等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 408件、テレビ・ラジオ放送 28件 ・商業撮影 24件 ・団体観覧の受入 8,090人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 ・ウェルカムコンサート 9回	・図書資料の収集 731冊 ・展覧会関係の広報用イベント(コンサート等) ・美術館の展覧会、教育普及事業等について、美術館ニュース、広報よこすか、美術館ホームページ、X等により周知を実施 ・取材等メディア掲載 新聞・雑誌等 443件、テレビ・ラジオ放送 55件 ・商業撮影 32件 ・団体観覧の受入 13,448人 ・地域との連携事業 ・横須賀美術館運営評価委員会の開催 ・ウェルカムコンサート 9回
---	---	--

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	【令和3年度】臨時休館をした影響で、複数年にわたって使用できるパンフレットや封筒の在庫余りが発生し、追加製作が不要となったことから、事業費が減少した。／美術館のプロモーションにつながるファッション誌などのスチール撮影、CM撮影などの積極的な受け入れを開始した。 【令和4年度】人件費の減は、広報係長の減による。／新しい取り組みとして、開館前のウェルカムコンサートを開始した。／パンフレットや封筒は例年どおり製作した。 【令和5年度】令和4年度は運慶展広報用印刷物を制作したが、令和5年度は制作しないため、事業費が減少した。／テレビCM撮影や有名アーティストのMV撮影などを積極的に受け入れたこと、世界の絶景美術館に選出されたことなども契機となって、コロナ禍において減少していた団体観覧が急増した。／展覧会観覧に繋げるため、開館中の展示室内でのウェルカムコンサートを開始した。
--	--

今後の事業 の方向性	SNS等の訴求活動を通じた情報発信や、積極的な商業撮影の受入れなどで、横須賀美術館の認知度は高まっていると感じている。美術館のPRを一層強くするため訴求活動や外部連携を強化していきたい。 図書室については、今後も美術への興味や理解が深まる場の提供を目的として、美術関連の資料(図書、カタログ等)を収集し、整理・保管を実施していく。
-----------------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	37	項目番号	3
-------	----	------	---	---	---	---	---	----	------	----	------	---

事務事業名	美術館管理事業	所管部課名	文化スポーツ観光部
			美術館運営課

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
------	------	------	-----	-------	----	---------	----

分類	施設の維持管理に係る業務
----	--------------

根拠法令	
------	--

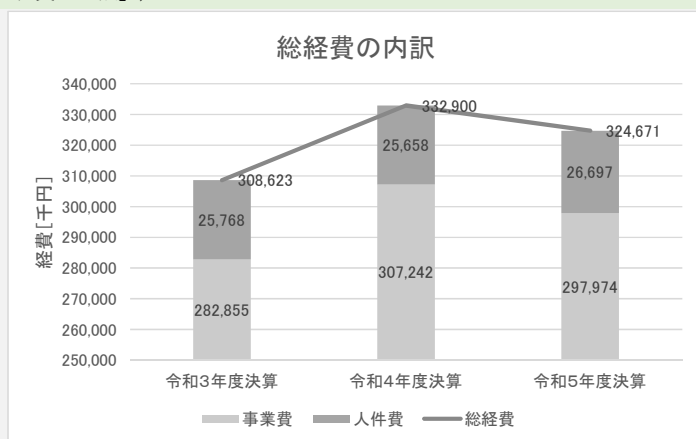
事業目的	・横須賀美術館を適正に維持管理し、施設を永く維持できるようにする。 ・円滑な運営を行うことで、利用者の満足度を高める。	分野別計画	横須賀市教育振興基本計画

具体的な事業内容	・施設及び敷地の適正な維持管理。 ・受付・展示監視及び施設の清掃、警備、各種設備の保守管理委託及び委託業者との連絡調整。 ・委託事業者、レストラン、ミュージアムショップと連携し、ホスピタリティのある来館者サービスを実施。
----------	--

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	282,855	307,242	297,974	307,435	千円
b 人件費	25,768	25,658	26,697	26,297	千円
正規職員	2.4	2.4	2.4	2.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	5,740	5,424	6,547	6,019	千円
総経費（a + b）	308,623	332,900	324,671	333,732	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設、設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い (主な修繕箇所) ・谷内六郎館外回りのガラスを支えるサッシの腐食が目立ち、耐久性と美観に問題があったことによる建具の改修 ・谷内六郎館で雨漏りが発生したために実施した屋根の防水工事	・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設、設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い (主な修繕箇所) ・本館屋根ガラスの防水(シーリング)工事 ・空調用自動制御装置、空調用冷水ポンプの不具合箇所の交換修繕	・警備、受付・監視、清掃等の委託及び受託事業者との連絡調整 ・施設、設備、PC機器等の保守管理 ・施設・設備の不具合箇所に対する早急な修繕および計画的な修繕 ・光熱水費の支払い (主な修繕箇所) ・非常用発電機の故障に伴う修繕 ・空調熱源装設備2台の故障に伴う内部機構の交換修繕 ・本館屋根ガラスの防水(シーリング)工事
--	--	--

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館や企画展の中止などにより、受付展示監視員の委託料や光熱水費が削減され、事業費が減少した。 令和4年度は、美術館の臨時休館がなかったことや、「運慶 鎌倉幕府と三浦一族」等の企画展が好調だったため、光熱水費や委託料等が増加した。 令和5年度は契約変更により光熱水費（電気）の支出額を抑えることができた。また、警備委託や受付監視委託についても配置の合理化を行い、経費の削減を行ったが、開館から16年が経過し、小破修繕に係る費用は引き続き増加している。
--	---

今後の事業 の方向性	引き続き、施設の維持管理、安全性の確保を念頭に置いたうえで、費用対効果を考慮しながら修繕や大規模工事によるメンテナンスを行っていく。 現状を維持しつつ、更なる来館者の満足度向上に繋がるような、新たな施策を検討していく。
---------------	--

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	20	説明資料	38	項目番号	4(1)
-------	----	------	---	---	---	---	---	----	------	----	------	------

事務事業名	美術品等取得基金積立金	所管部課名	文化スポーツ観光部
			美術館運営課

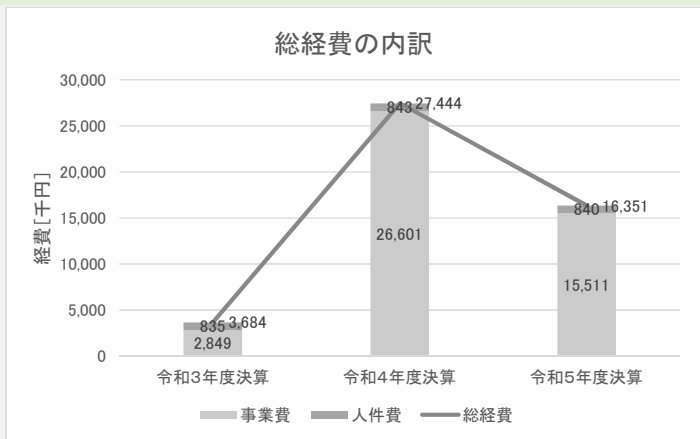
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	博物館法						
事業目的	美術館運営に必要な美術品及び美術に関する資料を取得する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な 事業内容	ふるさと納税等による寄附を美術品等取得基金に積立を行い、将来の美術品購入の財源とする。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,849	26,601	15,511	41,142	千円
b 人件費	835	843	840	845	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	3,684	27,444	16,351	41,987	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

・ふるさと納税 46件 2,849,000円 合計 2,849,000円	・美術品等取得基金利子収入 45円 ・ふるさと納税 340件 26,512,000円 ・募金箱 58,848円 ・直接寄附 30,000円 合計 26,600,893円	・美術品等取得基金利子収入 3,677円 ・ふるさと納税 15,379,500円 ・募金箱 127,529円 合計 15,510,706円
---	--	--

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度から令和4年度にかけて、美術品等取得基金を指定した「横須賀応援ふさと納税」の件数及び金額が大幅に増加し、基金積立金の残額が増加した。 令和5年10月から「横須賀応援ふさと納税」の指定寄附先が5つの分野別に改められ、美術品等取得基金には、令和5年度は、5つの分野のうち『音楽・スポーツ・エンターテインメント』によるにぎわいのあるまちづくり分野を指定した寄附金から相応額が割り振られた。 令和4年度から館内に募金箱を設置しており、その寄附金も基金に積み立てている。
--	--

今後の事業 の方向性	収集方針に即した体系的な作品収集のため、財源確保を積極的に進める。
---------------	-----------------------------------

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	8	項	1	目	2	説明資料		44	項目番号	4(1)																
事務事業名		プレミアム付商品券事業										所管部課名		文化スポーツ観光部 商業振興課																	
(1) 事務事業の概要																															
実施分類	補助金等	財源構成		国・県		受益者負担		あり		事業終了の見込		未定																			
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																														
根拠法令																															
事業目的	「よこすか『地元の元気』応援券～プレミアム付商品券第4弾～」を発行し、物価高騰の影響により落ち込んだ市内経済の復興を促進する。										分野別計画																				
具体的な事業内容	プレミアム率25%のプレミアム付商品券の発行																														
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																															
区 分						令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）						667,907	672,958	665,047	675,700	千円																					
b 人件費						16,690	8,431	12,594	0	千円																					
正規職員						2.0	1.0	1.5	0.0	人																					
再任用職員（短時間を含む）						0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）						0	0	0	0	千円																					
総経費（a + b）						684,597	681,389	677,641	675,700	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																															
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和3年度決算</td><td>667,907</td><td>16,690</td><td>684,597</td></tr><tr><td>令和4年度決算</td><td>672,958</td><td>8,431</td><td>681,389</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>665,047</td><td>12,594</td><td>677,641</td></tr></tbody></table>																年度	事業費	人件費	総経費	令和3年度決算	667,907	16,690	684,597	令和4年度決算	672,958	8,431	681,389	令和5年度決算	665,047	12,594	677,641
年度	事業費	人件費	総経費																												
令和3年度決算	667,907	16,690	684,597																												
令和4年度決算	672,958	8,431	681,389																												
令和5年度決算	665,047	12,594	677,641																												

令和3年度の活動実績		令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
	【市独自の施策】 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の復興を促進するため、プレミアム付きの商品券を発行。 プレミアム率25% 発行総額 2,488,500,000円 販売冊数 199,080冊	【市独自の施策】 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている市民生活の下支え及び市内経済の活性化を図るため、プレミアム付きの商品券を発行。 プレミアム率25% 発行総額:2,487,287,500円 販売冊数:198,983冊 商業活動が活発化し、課内人員での対応が困難であったため、係長1名を他部より併任とし、事業を実施(人件費には未反映) また、券面に環境に配慮した新素材「LIMEX」を活用して実施した。	【市独自の施策】 物価高騰の影響を受けた市内経済の活性化と消費の下支えを目的に、プレミアム付きの商品券を発行。 プレミアム率25% 発行総額 2,489,537,500円 販売冊数 199,163冊
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大や物価高騰への経済対策として、全市民・在学・在勤者を対象に実施している。 令和3年度は前年度が好評であったことから、発売数を増やして実施した。(令和2年度 163,030冊→ 令和3年度 199,080冊) 令和4年度は、券面に環境に配慮した新素材「LIMEX」を使用したため事業費が増額したが、1名分は他部からの併任職員のため人件費が減額となり、総経費も減額した。 令和5年度は、応援券の素材を見直し変更したため総経費が減額した。		
今後の事業の方向性	毎年度実施する事業ではないが、事業効果の把握や分析を行い、次に実施する際の参考としていく。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	47	項目番号	2(2)
事務事業名	観光拠点強化事業奨励金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										企画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	2023	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	企業版ふるさと納税を財源とした奨励金の交付により、横須賀の魅力を発信することで、横須賀市内への観光客等の周遊を促し、観光客数の増や、課題となっている市内滞在時間の延長、消費額の増を目指す					分野別計画		
具体的な事業内容	奨励金の交付にかかる業務							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	50,000	25,000	25,000	千円
b 人件費	0	843	840	845	千円
正規職員	0.0	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	0	50,843	25,840	25,845	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績		令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
・令和3年度の事業であったが、本體工事の遅れにより、年度内に執行せず、令和4年度に繰り越した。		・令和3年度から令和4年度への繰り越し事業として、シティサポートよこすかへ企業版ふるさと納税を財源とした奨励金を交付した。 【事業内容】 ・イベント広場の整備 ・情報発信ツールの整備 ・令和4年度は、寄附の受領が年度末であったため、事業を年度内に完了させることができないことから、令和5年度に繰り越した。	・令和4年度から令和5年度への繰り越し事業として、シティサポートよこすかへ企業版ふるさと納税を財源とした奨励金を交付した。 【事業内容】 ・夜の集客促進を図るための整備 ・施設の魅力を高めるための整備 ・観光周遊促進を図るための整備 ・インバウンド受け入れ環境の整備
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度の経費は、令和4年度から繰り越した経費である。 令和4年度は、リニューアルオープンに向けてイベント広場などの外構整備が行われたが、令和5年度からは、一定の集客力のある観光拠点施設に対して更なる魅力の向上やインバウンド対応に向けて案内サイン等の施設内の整備が主であったため、総経費が減少となった。		
今後の事業 の方向性	・民間企業が主体的に実施を計画する事業に対し、企業版ふるさと納税を活用した奨励金を交付することで、今後も民官連携で再興プランを推進していく。 ・寄附の募集は事業の提案事業者等とも引き続き協力しておこなっていく。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	51	項目番号	3(3)
-------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	日米親善よこすかスプリングフェスタ事業	所管部課名	文化スポーツ観光部
			観光課

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
------	----	------	-----	-------	----	---------	----

分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務
----	---

根拠法令	
------	--

事業目的	「日米親善よこすかスプリングフェスタ」を開催することで、日米間の友好親善を図るとともに、市内外に広く宣伝することにより、『横須賀の観光』のイメージアップを推進し、交流人口の増加を図る。	分野別計画	観光立市推進計画

具体的な事業内容	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施
----------	----------------------

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	7,479	9,387	11,670	千円
b 人件費	0	3,372	3,358	3,380	千円
正規職員	0.0	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	0	10,851	12,745	15,050	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施 開催日: 令和5年3月25日(土) 会 場: 米海軍横須賀基地 来場者数: 21,000人 備 考: 混雑対策のため、事前予約制により実施	日米親善よこすかスプリングフェスタの実施 開催日: 令和6年3月23日(土) 会 場: 米海軍横須賀基地 来場者数: 23,000人 備 考: 混雑対策のため、事前予約制により実施
-------------------------------	---	---

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和元年度～3年度の3年間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。 ・コロナ禍前は約5,000千円の規模で事業を実施していたが、令和4年度は米軍基地内への入場ルールの変更や混雑による危険回避のため、事前予約制を導入し、経費が増となった。令和4年度に事前予約制を導入したことで問い合わせ件数が増となり、令和5年度はこれを対策するための専用コールセンターを設置したこと、物価高騰の影響を受け、さらに経費が増となった。
--	---

今後の事業 の方向性	・令和5年度の開催時は、あいにくの雨模様かつ桜も開花前となったものの23,000人が来場した。コロナ禍前は来場者数が最高で37,000人に上るなど集客面において魅力が高く、市外の方々に横須賀を知っていただき、そして来訪していただく機会となっている。また、普段とは違う米海軍横須賀基地内の雰囲気の中で、飲食や買い物ができることを多くの方々が楽しみにしているイベントであり、日米間の友好親善を図ることのできる数少ないイベントの一つともなっていることから、引き続き米海軍横須賀基地のご協力のもと、事業を実施していきたい。
---------------	--

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	観光団体助成事業	所管部課名	文化スポーツ観光部
			観光課

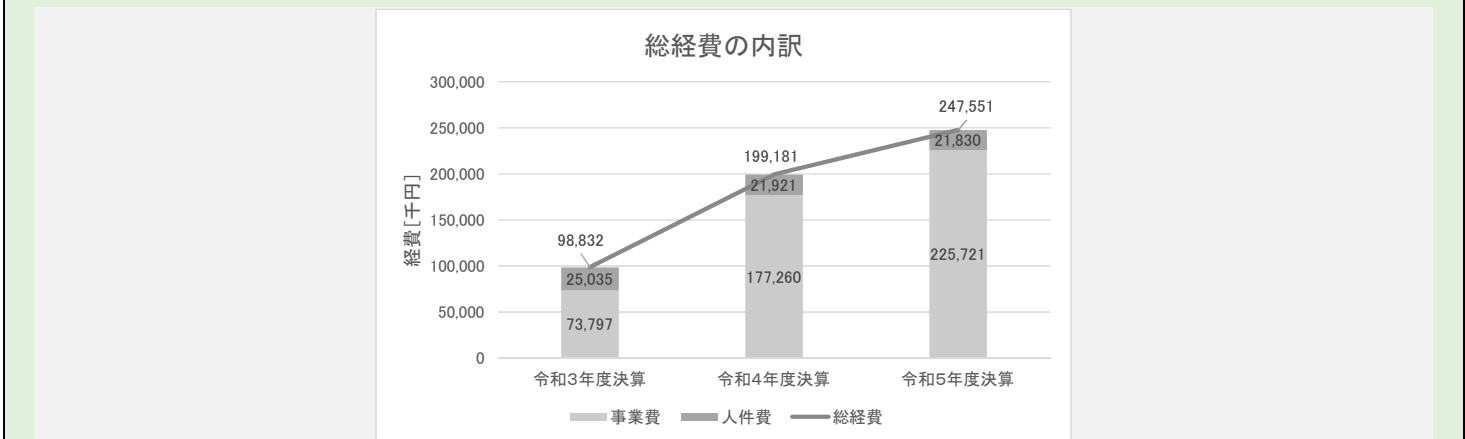
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	各種の観光行事および観光団体を助成し、市内外から人を呼べる観光事業を行うことで、本市の観光振興・経済の活性化を図る。					分野別計画	観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	1(一社)横須賀市観光協会への支援および補助金交付(観光案内所の運営、よこすかシティガイドの活動支援、人件費等) 2(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付(よこすかYYのりものフェスタ、よこすかみこしパレード、日米親善ベース歴史ツアー、海上自衛隊田戸台分庁舎ガイドツアー、海上自衛隊田戸台分庁舎一般公開) 3カレーの街よこすか推進委員会への負担金(・広報活動、キャンペーン事業・イベント活動(よこすかカレーフェスティバル等の開催)・宣伝物制作(よこすか海軍カレーガイドブック等)) 4各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 5観光行事への市長賞交付 6海水浴場の開設補助						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	73,797	177,260	225,721	238,871	千円
b 人件費	25,035	21,921	21,830	21,967	千円
正規職員	3.0	2.6	2.6	2.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	98,832	199,181	247,551	260,838	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
(1)(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2)(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種イベントは開催中止。ただし、日米親善ベース歴史ツアーのみ開催。 (3)カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア よこすかカレーフェスティバル2021 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止 (4)各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計12件 イ 各種観光団体主催事業 計3件 (5)観光行事への市長賞交付 計6件 (6)海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)	(1)(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2)(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ア よこすかYYのりものフェスタ2022 イ よこすか開国花火大会 ウ 日米親善ベース歴史ツアーへの支援 ※よこすかみしレパード、海上自衛隊戸台分庁舎一般公開及びガイドツアーは開催中止 (3)カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア カレーフェスティバル2022の開催及びガイドブックの発行 (4)各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計30件 イ 各種観光団体主催事業 計4件 (5)観光行事への市長賞交付 計9件 (6)海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)	(1)(一社)横須賀市観光協会の支援および補助金交付 ア 観光案内所の運営 イ シティガイド協会の活動支援 (2)(一社)横須賀市観光協会主催イベントの支援および補助金交付 ア よこすかYYのりものフェスタ2023 イ よこすか開国花火大会 ウ よこすかみしレパード エ 日米親善ベース歴史ツアーへの支援 オ 戸台分庁舎一般公開 (3)カレーの街よこすか推進委員会への負担金 ア カレーフェスティバル2023の開催及びガイドブックの発行 (4)各地区観光協会および各種観光団体行事への補助金交付 ア 各地区観光協会等主催事業 計34件 イ 各種観光団体主催事業 計6件 (5)観光行事への市長賞交付 計8件 (6)海水浴場の開設補助(長浜海水浴場)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・令和3年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大型イベントが中止となり、例年に比べ経費が大幅に減少していた。 ・令和4年度は、一部イベントの実施が再開したことにより経費が増加となっているが、コロナウイルス発生以前の総経費約2.1億円と比べると、ほぼ横ばいである。 ・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類になり、各種イベントが再開した。また、昨今の物価高騰、人件費高騰の影響により経費が増加となっている。
今後の事業 の方向性	・当該事業は、各種の観光行事および観光団体を助成し、市内外から人を呼べる観光事業を行うことが地元経済の活性化の一助となっている。 ・また、本市観光振興の中核的組織である（一社）横須賀市観光協会への支援も、今後更なる機能強化推進のために継続する必要がある。 ・大型イベントなど各事業における経費負担については引き続き適正化を図る必要があると考えるため、イベント実施における経費負担を整理し、自主財源の確保等を検討する。

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	53	項目番号	5(1)
事務事業名	観光地整備・美化事業								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										観光課		

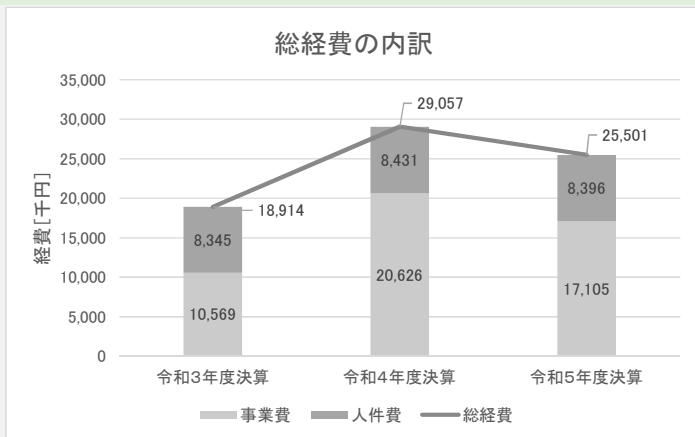
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	観光施設の整備及び観光地の美化事業を行うことにより、観光客に快適な環境及び情報を提供する。					分野別計画	観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 (2)観光地の美化清掃 (3)ハイキングコース巡視 (4)観光施設案内看板等修繕 (5)Yデッキ・JR横須賀駅デジタルサイネージ維持管理						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	10,569	20,626	17,105	19,358	千円
b 人件費	8,345	8,431	8,396	8,449	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	18,914	29,057	25,501	27,807	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山休憩所・大楠平公衆トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠平公衆トイレ用地借上げ (2)観光地の美化清掃 ア ハイキングコース等美化清掃委託 大楠山ほか8か所 延89回 イ 観光地ゴミ収集運搬委託 大楠山山頂、武山山頂 延39回 (3)ハイキングコース巡視業務 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)観光施設案内看板等修繕 大楠山山頂展望台小破修繕 (5)Yデッキ上・JR横須賀駅構内デジタルサイネージ維持管理	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山休憩所・大楠平公衆トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠平公衆トイレ用地借上げ (2)観光地の美化清掃 ア ハイキングコース等美化清掃委託 大楠山ほか8か所 延78回 イ 観光地ゴミ収集運搬委託 大楠山山頂、武山山頂 延32回 (3)ハイキングコース巡視業務 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)観光施設案内看板等修繕 大楠山山頂展望台小破修繕 (5)Yデッキ上・JR横須賀駅構内デジタルサイネージ維持管理 (6)旧荒崎シーサイドコース橋梁撤去工事	(1)大楠山山頂休憩所等観光施設の維持管理 ア 大楠山休憩所・大楠平公衆トイレ清掃及び維持管理 イ 観光施設(大楠山山頂)土地借上げ及び大楠平公衆トイレ用地借上げ ウ 大楠平公衆トイレ小破修繕 エ 大楠平公衆トイレ用地購入 (2)ハイキングコース等美化清掃 大楠山ほか7か所 延70回 (3)ハイキングコース巡視 関東ふれあいの道ほか 延16回 (4)Yデッキ上・JR横須賀駅構内デジタルサイネージ維持管理 (5)荒崎シーサイドコース防御柵補修修繕工事

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・観光施設やハイキングコースにおいて、老朽化した案内標識等の改修、通路やトイレ等の清掃・維持管理等により観光客の利便性を図っている。 ・美化清掃委託やハイキングコース等の小破修繕など定例的な経費であるため、基本的に大幅な増減はない。 ・令和4年度は旧荒崎シーサイドコースに残置されていた橋梁の撤去工事を行ったため、令和5年度は大楠平公衆トイレ小破修繕工事等を行ったため経費が増となっている。
今後の事業 の方向性	・大楠山・武山山頂などの観光施設やハイキングコース等を市が管理している間は、引き続き事業を継続する必要がある。 ・デジタルサイネージは、観光客への情報提供ツールではあるが、設置から10年以上経過し、機器の老朽化と機能不足が課題であるため、事業の継続について見直しも含め検討する必要がある。

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	8	項	1	目	5	説明資料	54	項目番号	6(1)
事務事業名	観光立市推進基金積立金								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										観光課		

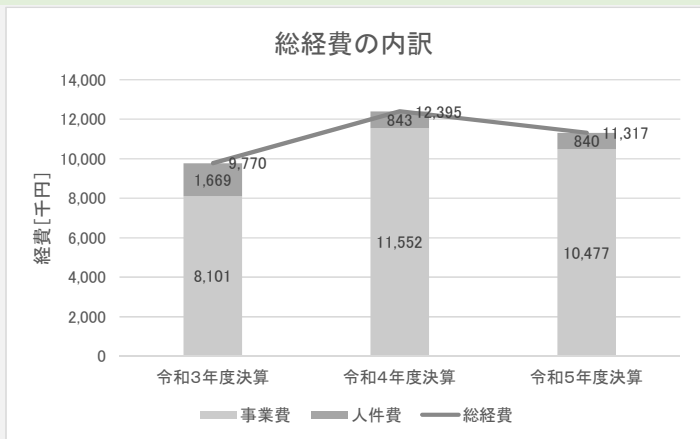
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	観光に関する意識の向上を図るため「観光立市推進基金」を平成30年度に創設し、観光立市推進基金への寄附を募り、観光の魅力発信や観光客の受け入れ環境の整備を進める。					分野別計画	観光立市推進基本計画
具体的な事業内容	・観光立市推進基金への指定寄附分の積立金 ・観光立市推進基金の運用利子分の積立金						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	8,101	11,552	10,477	10,477	千円
b 人件費	1,669	843	840	845	千円
正規職員	0.2	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	9,770	12,395	11,317	11,322	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
・観光立市推進基金利子収入 29円 ・ふるさと納税 157件 8,101,000円 合計 8,101,029円	・観光立市推進基金利子収入 101円 ・ふるさと納税 184件 11,552,000円 合計 11,552,101円	・観光立市推進基金利子収入 1,531円 ・ふるさと納税 10,475,874円 合計 10,477,405円

年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	・令和3年度は、寄附件数及び金額の大幅な増加により、積立金も大幅に増加した。 ・令和4年度も寄附件数及び金額が増加し、令和3年度に比べて積立金が増加した。 ・令和5年度は、年度途中よりふるさと納税の寄附配分の運用方法が変更となり各基金への指定寄附ではなく、「音楽・スポーツ・エンタテインメントによる賑わいのあるまちづくり」「支えあう福祉のまちづくり」「子育て・教育充実のまちづくり」「未来につなぐ環境のまちづくり」の4分野および「市政全般に活用」の5つから選択する形となった。 各基金への寄附額割り当ては財務部で調整することとなり、若干の減額となった。
---	---

今後の事業 の方向性	今後各基金への寄附額割り当ては財務部で調整することとなったため、充当された寄附額を有効に活用し、観光地としての知名度向上を図る。
-----------------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	1	説明資料	60	項目番号	2(1)
事務事業名	スポーツ推進審議会								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

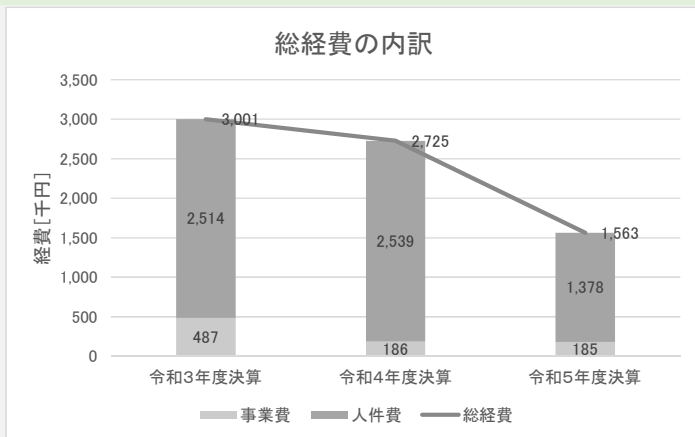
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第31条、スポーツ推進審議会条例						
事業目的	本市のスポーツ推進の重要事項について調査審議する					分野別計画	スポーツ推進計画
具体的な事業内容	委員は12名で、その内訳は、公募市民2名、関係団体代表者10名（体育協会、学区体育振興会、神奈川県立保健福祉大学、神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会、レクリエーション協会、横須賀市スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ指導者競技会、中学校体育連盟、小学校体育研究会、スポーツ推進委員協議会）、学識経験者1名で構成されている。年度内に2～3回会議を開き本市のスポーツ推進に関し審議を重ねている。主な審議内容は、毎年度のスポーツ関係事業の進捗状況や当該年度の予算主要事業の報告並びに計画策定など。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	487	186	185	275	千円
b 人件費	2,514	2,539	1,378	1,364	千円
正規職員	0.3	0.3	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	10	10	10	10	千円
総経費（a + b）	3,001	2,725	1,563	1,639	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
新型コロナウイルス感染症の影響により未開催 (報告事項のみ資料送付) 次任期における市民委員の公募を行った。	会議開催数 2回 参加委員数 延16名	会議開催数 2回 参加委員数 延16名
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の 増減理由等)	コロナ禍が一段落し昨年度から通常開催を行っている。	
今後の事業 の方向性	コロナ禍は現状落ち着いているが、今後も感染症の状況を注視し、議題の有無に応じて書面開催や会議の中止を検討していく。	

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	1	説明資料	60	項目番号	2(2)
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	市スポーツ推進委員	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

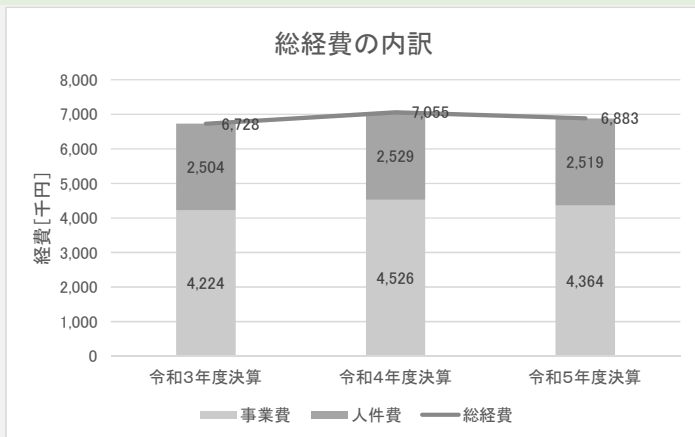
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務							
根拠法令	スポーツ基本法第32条							
事業目的	スポーツ基本法第32条に基づき、本市スポーツ活動推進のため、事業実施に係る連絡調整並びに実技指導その他スポーツに関する指導助言を行い、地域住民の健康増進、体位向上を図るとともに講習会、研修会等への参加を通じて資質の向上を図ることを目的とする。					分野別計画		
具体的な事業内容	スポーツ推進委員は、学区体育振興会を推薦母体とし、委員相互の連絡調整とスポーツ推進のための体制を整備することを目的に、横須賀市スポーツ推進委員協議会を組織しており、定数は322名以内となっている。所属する学区体育振興会主催の健民運動会、歩こう会、児童ソフトボール大会等の企画・運営及び本市主催のレクリエーション関係事業等に積極的に協力参加する。また、資質向上のため、各種研究大会・実技研修会に参加している。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,224	4,526	4,364	5,094	千円
b 人件費	2,504	2,529	2,519	2,535	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	6,728	7,055	6,883	7,629	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

スポーツ推進委員数 301人 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回	スポーツ推進委員数 299人 スポーツ推進委員協議会主管球技大会開催数 4回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回	スポーツ推進委員数 287人 スポーツ推進委員協議会主管球技大会開催数 4回 スポーツ推進委員協議会主催CSY杯グラウンドゴルフ大会 1回
---	--	--

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により協議会主管事業が中止されたが、令和4年度以降、コロナ禍前と変わらない事業活動を行うことができています。一方で、令和5年度は活動を休止した学区があったため、スポーツ推進委員への報酬支払いが一部無くなったことに伴い、前年度と比較して経費が減となった。
--	--

今後の事業 の方向性	スポーツ推進委員は本市のスポーツ振興に欠かせない存在であるため、事業は維持継続し、活発な活動を後押しする。
---------------	---

令和6年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	9	目	1	説明資料	60	項目番号	2(3)(4)																
事務事業名	自動車損害共済基金分担金および一般事務費										所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営		財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務																													
根拠法令																														
事業目的	スポーツ振興課の業務全般に係る総務的な事務を円滑に遂行する										分野別計画																			
具体的な事業内容	組織の運営管理にかかる業務																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					1,563	1,595	1,784	1,992	千円																					
b 人件費					835	843	1,877	1,888	千円																					
正規職員					0.1	0.1	0.2	0.2	人																					
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	198	198	千円																					
総経費（a + b）					2,398	2,438	3,661	3,880	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和3年度決算</td><td>1,563</td><td>835</td><td>2,398</td></tr><tr><td>令和4年度決算</td><td>1,595</td><td>843</td><td>2,438</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>1,784</td><td>1,877</td><td>3,661</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和3年度決算	1,563	835	2,398	令和4年度決算	1,595	843	2,438	令和5年度決算	1,784	1,877	3,661
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和3年度決算	1,563	835	2,398																											
令和4年度決算	1,595	843	2,438																											
令和5年度決算	1,784	1,877	3,661																											
令和3年度の活動実績					令和4年度の活動実績					令和5年度の活動実績																				
特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)					特になし(内部管理費のみ)																				
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）		(令和4年度→5年度) 社会体育振興費の一般事務費を保健体育総務費の一般事務費に統合したため、事業費が増加した。それに伴い、会計年度任用職員の業務も増えたため。																												
今後の事業の方向性		より良いサービス内容の検討や経費節減を継続して取り組んで行く。																												

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	61	項目番号	2
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	---

事務事業名	学校体育施設開放奨励事業費	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第13条						
事業目的	スポーツ基本法の主旨により、青少年及び一般地域住民のスポーツ愛好団体等にスポーツやレクリエーションの場として、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、健全な余暇利用を促進する。さらに、地域児童の安全な遊び場及び自由なコミュニケーションの場として、学校体育施設を開放する。					分野別計画	スポーツ推進計画
具体的な事業内容	各開放校に地域住民等で構成された運営委員会を設置し、協議しながら円滑に学校体育施設の開放を行っている。 (1)開放校(全市立小中学校にて開放) 小学校46校 中学校23校(25箇所・旧桜台中学校、旧上の台中学校含む) 合計69校(71箇所) (2)開放施設 体育会館(武道館含む)及び校庭						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	22,845	23,899	20,338	24,762	千円
b 人件費	2,504	2,529	1,368	1,354	千円
正規職員	0.3	0.3	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	25,349	26,428	21,706	26,116	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

利用人数(延べ) 946,597人	利用人数(延べ) 1,141,081人	利用人数(延べ) 1,456,121人
----------------------	------------------------	------------------------

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一定期間の間、事業を中止していたため、令和4年度は支出が増となっている。 令和5年度は学校施設の鍵の管理を各団体が行う自主管理方式への移行を奨励したことから支出が減となっている。
--	---

今後の事業 の方向性	円滑な事業運営を図りながら、今後も維持継続。
---------------	------------------------

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	62	項目番号	3(1)
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	市民スポーツ教室	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
------	------	------	----	-------	----	---------	----

分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務
----	---

根拠法令	スポーツ基本法第22条
------	-------------

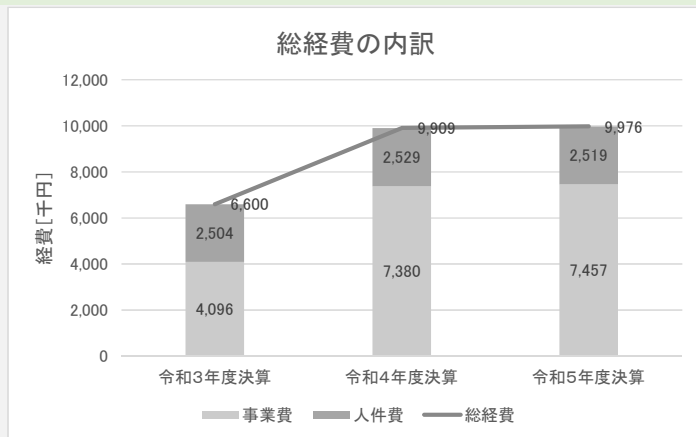
事業目的	スポーツを通して健康づくりを行なうこと、スポーツを習慣化すること、スポーツの基礎技術の習得を図ることを目的に、幼児から高齢者までを対象に、各種スポーツに関する教室を開催し、市民に広く健康的に体を動かす機会を提供する。	分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画

具体的な事業内容	各種目団体にスポーツ教室の運営を委託し、下記の20教室を企画。 ・健康体力づくり教室 ・幼児の体力づくり教室 ・楽しくエアロビック教室 ・はつらつ体操教室 ・スポーツレクリエーション教室（スポーツ吹矢教室、バウンドネス教室） ・小学生水泳教室 ・夏休みジュニア水泳教室 ・冬・春休みファミリー・ジュニアスキー教室 ・ジュニア相撲教室 ・夏休み小学生ソフトテニス体験教室 ・太極拳教室 ・ジュニア新体操教室 ・ジュニア卓球教室 ・なぎなた教室 ・ジュニアバドミントン教室 ・ジュニアラグビー教室 ・ジュニア陸上教室 ・ジュニアレスリング教室 ・ウインドサーフィン教室 ・F・マリノスふれあいフットサルタイム
----------	--

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,096	7,380	7,457	7,759	千円
b 人件費	2,504	2,529	2,519	2,535	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	6,600	9,909	9,976	10,294	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

参加者数 1,685人	参加者数 2,710人	参加者数 1,925人
-------------	-------------	-------------

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度においては、コロナ禍により教室の中止や縮小があったが、令和4年度及び令和5年度は例年に近い回数を開催した。令和4年度から令和5年度の参加者数を比較すると、785人減少しているが、参加率で見ると令和4年度の参加率（※）が54.2%、令和5年度の参加率が58.4%であるため、4.2%増加している。 ※参加率とは、各スポーツ教室の定員数と参加者数を除する率
--	---

今後の事業 の方向性	拡充と共に、参加率が乏しい教室の縮小も今後検討。より多くの市民に参加の機会を設けるため、広報の仕方を工夫するといった視点を持ちながら、状況を注視していく。
---------------	--

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	63	項目番号	3(2)
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	市民体育大会	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

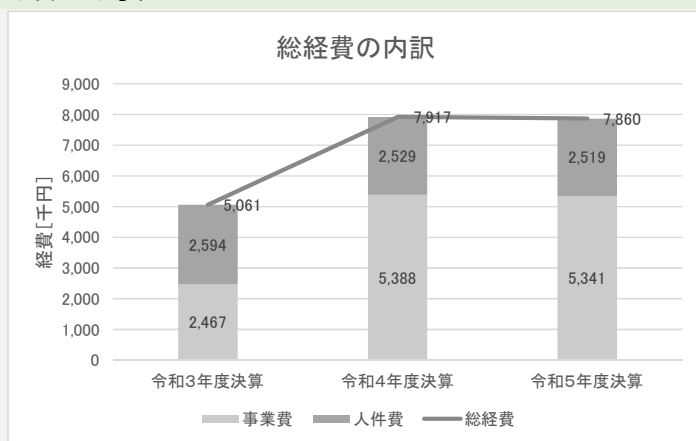
(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第22条						
事業目的	市民の体力づくり、本市体育・スポーツの振興と競技力向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	横須賀市スポーツ協会加盟の各種目団体に委託し年間を通じて38種目（合気道、アーチェリー、カヌー、空手道、弓道、クレ射撃、ゲートボール、剣道、ゴルフ、サッカー、山岳、銃剣道、柔道、少林寺拳法、水泳、スキー、相撲、ソフトテニス、ソフトボール、太極拳、体操、卓球、ダンススポーツ、テニス、なぎなた、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ハンドボール、パークゴルフ、ボウリング、ボクシング、野球、ヨット、ライフル射撃、ラグビー、陸上競技、レスリング）の市民体育大会を開催する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,467	5,388	5,341	5,405	千円
b 人件費	2,594	2,529	2,519	2,625	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	90	0	0	90	千円
総経費（a + b）	5,061	7,917	7,860	8,030	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

横須賀市体育協会に委託し、市民体育大会を18種目実施した。	横須賀市スポーツ協会に加盟している種目団体へ委託し、市民体育大会を34種目実施した。	横須賀市スポーツ協会に加盟している種目団体へ委託し、市民体育大会を33種目実施した。
--------------------------------------	---	---

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの種目が市民体育大会を中止にせざるを得ない状況となったが、令和4年度以降は多くの種目で大会を開くことができたため、横須賀市スポーツ協会各団体への業務委託料が過年度と比較して増となった。5年度については会場調整がつかず実施できなかった種目があったことから、業務委託料が前年と比較し減となった。
--	--

今後の事業 の方向性	例年約3万人もの選手が参加する横須賀市最大の競技大会となっている。 本市全体のスポーツ振興に効果をあげており、スポーツ協会と連携した事業として維持継続すべきと考える。
-----------------------	--

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	63	項目番号	3(3)
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	各種競技大会事業	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
------	----	------	----	-------	----	---------	----

分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務
----	---

根拠法令	スポーツ基本法第22条
------	-------------

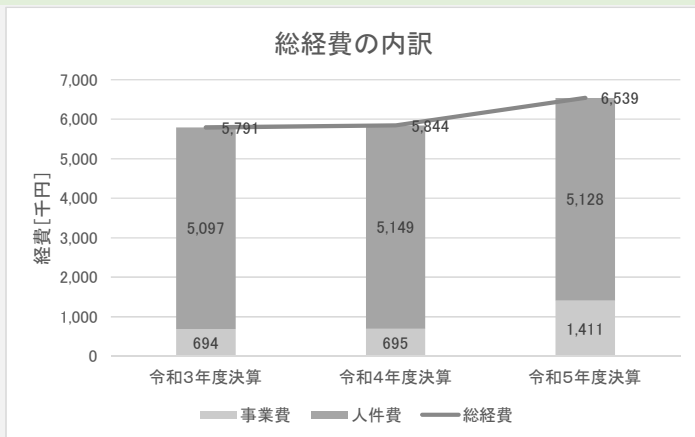
事業目的	市民の健康・体力増進、競技力向上、青少年の心身の健全育成を行いながら、地域のスポーツ振興を図る。	分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画

具体的な事業内容	【秋山翔吾カップ(横須賀市少年野球大会)】青少年の心身の健全育成を目的として児童生徒の夏季休暇中に開催され、令和5年度には第70回を数える歴史ある軟式少年野球大会。市内各地域にある少年野球チームが一堂に会し、小学生、中学生別のトーナメント方式により対戦する。 【ソレイユの丘駅伝(横須賀市民駅伝競走大会)】毎年12月中旬、約100チーム(約600名)が参加し、令和5年度には第78回を数える歴史ある市民駅伝競走大会。市民が健脚を競い合うこの大会は、令和5年度からリニューアルオープンした長井海の手公園ソレイユの丘で開催。
-----------------	--

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	694	695	1,411	1,830	千円
b 人件費	5,097	5,149	5,128	5,159	千円
正規職員	0.6	0.6	0.6	0.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	90	90	90	90	千円
総経費（a + b）	5,791	5,844	6,539	6,989	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

【第68回横須賀市少年野球大会】 参加チーム数 学童部15チーム、中部部8チーム。 【第76回横須賀市民駅伝競走大会】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。	【第69回横須賀市少年野球大会】 参加チーム数 学童部17チーム、中部部8チーム。 【第77回横須賀市民駅伝競走大会】 会場となる長井海の手公園ソレイユの丘がリニューアルオープンに伴う工事期間中のため開催中止。	【第1回秋山翔吾カップ(第70回横須賀市少年野球大会)】 参加チーム数 学童部16チーム、中部部10チーム。 【ソレイユの丘駅伝(第78回横須賀市民駅伝競走大会)】 参加チーム数 90チーム。
---	---	--

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	横須賀市少年野球大会は感染症対策を講じながら大会を開催できたが、横須賀市民駅伝競走大会においては、令和3年度はコロナ禍により、令和4年度は会場がリニューアルオープンに伴う工事期間中であったことから、2年連続開催中止であった。 令和5年度は両大会ともに例年通りの開催が実現したことによる総経費の増。
--	---

今後の事業 の方向性	【秋山翔吾カップ(横須賀市少年野球大会)】これまでは児童生徒の夏季休暇中に開催をしていたが、今後は熱中症予防対策の観点から開催時期についても検討する必要がある。 【ソレイユの丘駅伝(横須賀市民駅伝競走大会)】くりはま花の国周回コースで行っていた大会を、平成27年度の第70回大会を機に、交通状況等の課題を解決するためにも、装いを新たに長井海の手公園ソレイユの丘の園内周回コースに会場を変更した。参加するランナーと一般来場者の双方に楽しんでもらえるような仕掛けづくり等を検討しながら維持継続できるようにしていく。
-----------------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	63	項目番号	3(4)
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	国県体育大会等選手派遣事業	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

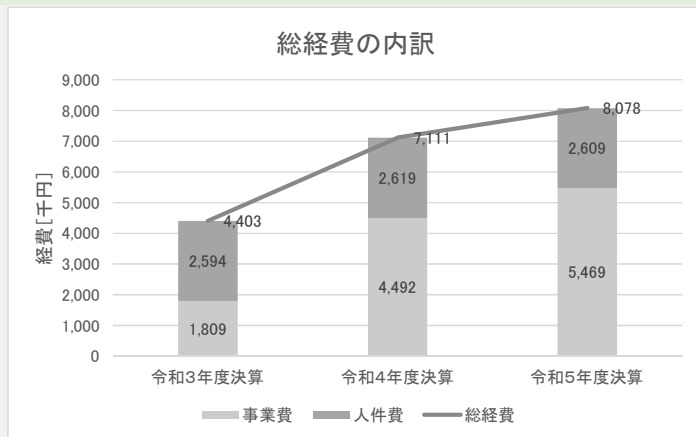
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第6条、第20条						
事業目的	全国大会等の出場選手・チーム・役員のスポーツ大会への参加を支援する。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	(1)本市在住・在勤・在学者の国民スポーツ大会等及び全国大会・国際スポーツ大会出場者に対する支援。 (2)上記(1)の申請者のうち、国の強化選手指定等を受けた者に対する支援。 (3)本市国民スポーツ大会等出場者の壮行会開催に係る経費。 (4)市町村対抗ながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し参加することによって、競技力の向上や他都市とのスポーツの交流を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,809	4,492	5,469	5,931	千円
b 人件費	2,594	2,619	2,609	2,625	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	90	90	90	90	千円
総経費（a + b）	4,403	7,111	8,078	8,556	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人119人、団体8チーム)	本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人236人、団体16チーム) 上記のうち、国の強化選手指定を受けた選手に奨励金を交付した。(個人1人) 国体壮行会は新型コロナウイルス感染症の拡大や感染を懸念して中止とした。 第77回市町村対抗かながわ駅伝競走大会は、降雪の影響により中止となった。	本市在住・在勤・在学者で全国大会等に出場した選手に奨励金を交付した。(個人320人、団体11チーム) 国体に出場する44名に対して壮行会を実施した。 第78回市町村対抗かながわ駅伝競走大会へ本市代表選手団を編成し、参加した。(4位)
--	---	---

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により多くの大会が中止となり、奨励金の交付件数が減少したが、令和4年度・5年度では徐々に大会が開催され、交付件数もコロナ前の年度と比較しても増加する結果となった。
--	--

今後の事業 の方向性	スポーツ大会出場者奨励金は、申請件数も増加傾向にあり、且つ、市内の競技力向上の一役を担う事業であるため、今後も維持継続していく。 また、国民スポーツ大会等出場者への壮行会の開催については、共催である横須賀市スポーツ協会と協議し検討を進める。 市町村対抗かながわ駅伝競走大会についても、主催する神奈川県を中心に、県内各自治体が申し込み等の事務を担う役割があるため、市陸上競技協会と連携を図り、大会に参画していく。
-----------------------	--

令和6年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	64	項目番号	3(5)
事務事業名	市民レクリエーション行事等								所管部課名	文化スポーツ観光部		
										スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第24条						
事業目的	本市のレクリエーション活動の普及振興を図り、健康増進・体位向上を目的とする。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	市民が参加できるレクリエーションイベント(春季・秋季市民レクリエーション大会、よこすかスポーツフェスタ、児童・成人球技大会、YOKOSUKAサッカーフェスティバル)の実施、子どもの運動能力向上やスポーツの裾野拡大が期待できる事業(小学校でのリズムトレーニング講師派遣、スポーツ能力測定会)の実施、登山への市民参加が得られるよう市民登山の会への補助金交付、夏休みを利用したラジオ体操の会を実施する各学区体育振興会等にラジオ体操精勤賞状と出席カードの配布。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分		令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a	事業費（予算現額・支出済額）	7,761	10,824	13,855	14,342	千円
b	人件費	16,304	160,637	16,400	16,501	千円
	正規職員	1.9	19.0	1.9	1.9	人
	再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
	会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	448	448	448	448	千円
総経費（a + b）		24,065	171,461	30,255	30,843	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
・児童、成人球技大会 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止 ・春季市民レクリエーション大会 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止 ・よこすかスポーツフェスタ、秋季市民レクリエーション大会、スポーツ能力測定会 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。 ・リズムトレーニング派遣事業 実施校 9校 ・市民登山の会に補助金交付 ・ラジオ体操カード 9,243枚	・児童、成人球技大会参加チーム数 - 第63回児童ソフトボール大会 10チーム - 第35回児童ミニバスケットボール大会 25チーム - 第62回成人ソフトボール大会 22チーム - 第62回成人バレーボール大会 25チーム ・春季市民レクリエーション大会 参加者数 約500人 ・よこすかスポーツフェスタ、秋季市民レクリエーション大会 参加者数 5,618人 ・リズムトレーニング派遣事業 実施校 10校 - 指導者向け講習会 1回 ・市民登山の会に補助金交付 ・ラジオ体操カード 10,095枚 ・スポーツ能力測定会 160人	・児童、成人球技大会参加チーム数 - 第1回秋山翔吾カップ(第64回児童ソフトボール大会) 10チーム - 第36回児童ミニバスケットボール大会 22チーム - 第63回成人ソフトボール大会 19チーム - 第63回成人バレーボール大会 28チーム ・春季市民レクリエーション大会 参加者数 約400人 ・よこすかスポーツフェスタ、秋季市民レクリエーション大会 参加者数 5,230人 ・リズムトレーニング派遣事業 実施校 15校 - 指導者向け講習会 1回 ・市民登山の会に補助金交付 ・ラジオ体操カード 12,055枚 ・スポーツ能力測定会 161人
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	・リズムトレーニング派遣校数増加(5校増)による委託費用増	
今後の事業の方向性	スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民の健康増進という目的のほかに、スポーツの裾野拡大や競技力向上、ニュースポーツの普及や異種目交流という側面もあり、維持継続すべきと考える。	

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	65	項目番号	4(1)~(4)、(6)
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	--------------

事務事業名	社会体育団体等補助金	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

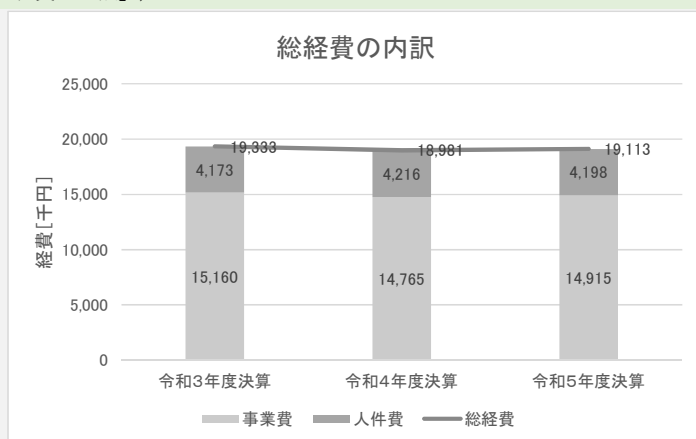
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	スポーツ基本法第34条						
事業目的	体育・スポーツ団体の育成、競技力向上、地域生涯スポーツ振興を補助し、市内の体育・スポーツの普及振興を図る。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	社会体育団体等が実施する事業を助成するため以下の補助金を交付する。 (1)横須賀市スポーツ協会補助金 (2)横須賀市レクリエーション協会補助金 (3)横須賀市スポーツ少年団補助金 (4)学区体育振興会補助金						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	15,160	14,765	14,915	15,605	千円
b 人件費	4,173	4,216	4,198	4,225	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	19,333	18,981	19,113	19,830	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

横須賀市体育協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(7,260,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(27団)へ補助金を交付した。(405,000円) 学区体育振興会(43学区)へ補助金を交付した。(7,095,000円)	横須賀市スポーツ協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(7,360,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(27団)へ補助金を交付した。(405,000円) 学区体育振興会(40学区)へ補助金を交付した。(6,600,000円)	横須賀市スポーツ協会事務局及び加盟団体(40種目)へ補助金を交付した。(7,360,000円) 横須賀市レクリエーション協会へ補助金を交付した。(400,000円) 横須賀市スポーツ少年団(26団)へ補助金を交付した。(390,000円) 学区体育振興会(41学区)へ補助金を交付した。(6,765,000円)
---	---	---

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和4年度において、学区体育振興会の補助金申請件数が3件減少（△495,000円）。 令和5年度において、横須賀市スポーツ少年団が1団減少（△15,000円）、学区体育振興会の補助金申請件数が1件増加（165,000円）。
--------------------------------	--

今後の事業 の方向性	市と連携して本市のスポーツ振興等に取り組んでいるため、事業は維持継続し、引き続き各団体の活発な活動を後押しする。
---------------	--

令和 6 年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	9	目	2	説明資料	67	項目番号	6(1)																
事務事業名	スポーツ基金積立金										所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	補助金等		財源構成		その他		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令	基金条例																													
事業目的	施設の整備(体育会館運営事務費)やスポーツに参加する人への支援(国県体育大会等選手派遣事業)などにスポーツ基金を充当し、市民スポーツの振興に資する。										分野別計画																			
具体的な事業内容	当年度中の「ふるさと納税」等による指定寄附と運用利子で得た収入を積み立てる。																													
(2) 1 年間の本事業執行にかかる経営資源 (人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位																					
a 事業費 (予算現額・支出済額)					5,467	7,658	13,646	13,646	千円																					
b 人件費					2,593	2,618	1,457	1,443	千円																					
正規職員					0.3	0.3	0.1	0.1	人																					
再任用職員 (短時間を含む)					0.0	0.0	0.1	0.1	人																					
会計年度任用職員 (フルタイム、パートタイム)					89	89	89	89	千円																					
総経費 (a + b)					8,060	10,276	15,103	15,089	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移 (【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和3年度決算</td><td>5,467</td><td>2,593</td><td>8,060</td></tr><tr><td>令和4年度決算</td><td>7,658</td><td>2,618</td><td>10,276</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>13,646</td><td>1,457</td><td>15,103</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和3年度決算	5,467	2,593	8,060	令和4年度決算	7,658	2,618	10,276	令和5年度決算	13,646	1,457	15,103
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和3年度決算	5,467	2,593	8,060																											
令和4年度決算	7,658	2,618	10,276																											
令和5年度決算	13,646	1,457	15,103																											
令和 3 年度の活動実績					令和 4 年度の活動実績					令和 5 年度の活動実績																				
ふるさと納税による指定寄附 5,467,000円 運用利子 31円					ふるさと納税による指定寄附 7,658,000円 運用利子 77円					ふるさと納税による指定寄附 13,645,000円 運用利子 1,015円																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	ふるさと納税の寄附額によって、その年々の総経費に増減が生じる。																													
今後の事業の方向性	積極的な財源確保のため、引き続き継続していく。																													

令和6年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	68	項目番号	9(1)ほか
事務事業名	スポーツ表彰事業								所管部課名	文化スポーツ観光部 スポーツ振興課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務						
根拠法令	スポーツ基本法第20条						
事業目的	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方の表彰並びに本県の代表として全国、世界大会へ出場した選手を表彰することにより体育行政全体の活力を呼びおこし、かつ選手の技術向上を目指す意識を高める。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	体育功労者にあつては、本市体育振興に功績のあった者に対して、また、スポーツ栄光章にあつては、本県の代表選手として全国大会等に出場し、顕著な成績を挙げた者に対して、毎年度末の2月に被表彰者を一堂に会し表彰状及び、功労者には楯と徽章、栄光章にはメダルを授与し、その功績を称えている。また、オリンピック等において顕著な成績を収めた個人または団体に横須賀市スポーツ大賞・特別賞の表彰を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	496	991	1,087	1,099	千円
b 人件費	2,504	2,529	2,519	2,535	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,000	3,520	3,606	3,634	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人8名、団体1チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人15人、団体8チーム) 本市出身で、サッカー日本代表としてワールドカップカタール大会出場を決めた伊東純也選手を激励する懸垂幕及び横断幕を製作した。	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人7名、団体1チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人45人、団体9チーム) さらに、権威ある国際試合等において顕著な成績を収めた選手にスポーツ大賞を贈った。(個人2人)	長年にわたり本市体育振興に功績のあった方を横須賀市体育功労者として表彰した。(個人9名、団体2チーム) また、県の代表として全国、世界大会へ出場した選手・チームを横須賀市スポーツ栄光章として表彰した。(個人49人、団体8チーム) さらに、権威ある国際試合等において顕著な成績を収めた選手にスポーツ大賞(個人3人)、スポーツ特別賞(個人1名)を贈った。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止されていたスポーツ大会が再開され、令和4、5年度ともに被表彰者が前年に比べ増加した。 令和4、5年度は表彰式を概ねコロナ禍前の形での開催となったことや、アトラクションにかかる委託を行ったことなどから前年度比増となった。	
今後の事業 の方向性	長年の体育功労者や優秀な成績を収めた選手の功績を称する機会であるため今後も継続する。	

令和6年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	2	説明資料	67	項目番号	7,8
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	-----

事務事業名	スポーツ選手応援事業(スポーツで夢をかなえる基金積立金)	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
------	------	------	-----	-------	----	---------	----

分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務
----	---

根拠法令	
------	--

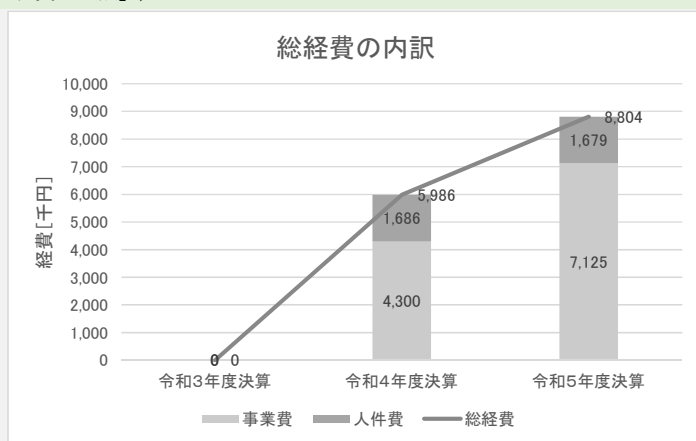
事業目的	市内トップアスリートの育成等を目的とし、企業や個人からの寄附金も活用しながら、選手の活動を支援する。	分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画

具体的な事業内容	対象の選手は、市内在住・在勤・在学で、オリンピック・パラリンピック強化指定選手、各競技団体(オリンピック・パラリンピック・デフリンピック)の強化指定選手、JOCエリートアカデミー選手のいずれかに該当する者。寄附者が選手を指定して寄附した場合は、その選手に全額を交付し、指定がない場合は対象選手に均等分配する。 また、スポーツで夢をかなえる基金は、本事業の財源の一部として積み立て、対象選手がいる場合に繰り入れ、本事業に充当する。
----------	--

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	4,300	7,125	11,000	千円
b 人件費	0	1,686	1,679	1,690	千円
正規職員	0.0	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	0	5,986	8,804	12,690	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

事業開始前	企業版ふるさと納税で市外企業1社、指定寄附で市内企業1社、個人3名から合計3,300千円の寄附があり、対象選手6名に寄附金とスポーツで夢をかなえる基金繰入金1,000千円の合計4,300千円を分配し、奨励金を交付した。	企業版ふるさと納税で市外企業1社、指定寄附で市内企業・団体9社、個人80名から合計6,105千円の寄附があり、対象選手6名に寄附金とスポーツで夢をかなえる基金繰入金1,000千円と一般財源からの端数不足分の補填20千円の合計7,125千円を分配し、奨励金を交付した。
-------	--	--

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	令和4年度から事業を開始し2年目となり、制度の周知が広まっていき、寄附が増えたことで、それを財源とする選手への奨励金の交付が増えた。
---	---

今後の事業 の方向性	奨励金をより多くの本市ゆかりの選手に届け、競技活動を支援するため維持継続していく。
---------------	---

令和6年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	69	項目番号	1
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	---

事務事業名	体育会館管理委託費	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
------	------	------	-----	-------	----	---------	----

分類	施設の維持管理に係る業務
----	--------------

根拠法令	体育会館条例
------	--------

事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等社会振興の場の提供や市民の健康増進のため、体育会館施設の運営維持管理業務を委託する。	分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画

具体的な事業内容	体育会館施設の第4期(平成30年4月1日～令和4年3月31日)指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ管理運営を委託し、管理にかかる委託金等を支出する。 体育会館施設:総合体育会館(メインアリーナ、サブアリーナ)、北体育会館、南体育会館(くりはま花の国プール含)、西体育会館(佐島の丘温水プール含)
----------	---

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	575,758	570,975	637,588	668,544	千円
b 人件費	3,338	3,372	1,368	1,354	千円
正規職員	0.4	0.4	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	579,096	574,347	638,956	669,898	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額575,758千円を支出した。 体育会館施設使用人員：509,849人	指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額570,975千円を支出した。 体育会館施設使用人員：615,688人	指定管理者である、スポーツコミュニティよこすかへ運営管理業務を委託し、同事業体へ年額637,588千円を支出した。 体育会館施設使用人員：700,461人
---	---	---

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	令和4・5年度中に西体育会館、南体育会館が工事休館したが、コロナ禍の鎮静化により利用者数は増となった。 令和5年度の総経費は、下水道利用料金の価格改定（8,895千円）、光熱費（65,645千円）の高騰により指定管理料の支出額が増加した。
------------------------------------	--

今後の事業 の方向性	今後も指定管理施設として指定管理者に委託し運営する。運営にあたっては、利用料金収入の増を目標としながら、多くの市民へ運動の場を提供する。
-----------------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	70	項目番号	2
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	---

事務事業名	体育会館営繕工事費	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
------	-----	------	-----	-------	----	---------	----

分類	施設の維持管理に係る業務
----	--------------

根拠法令	
------	--

事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等の場の提供や、市民の健康増進のため体育会館等の施設整備を行う。	分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画

具体的な事業内容	体育会館施設の改修工事を行う。 体育会館施設：総合体育会館（メインアリーナ、サブアリーナ）、北体育会館、南体育会館（くりはま花の国プール含）、西体育会館（佐島の丘温水プール含）
----------	--

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	474,720	510,225	302,630	483,218	千円
b 人件費	3,338	3,372	1,896	1,864	千円
正規職員	0.4	0.4	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.2	0.2	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	478,058	513,597	304,526	485,082	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

・くりはま花の国プール改修その他工事（継続費） ・くりはま花の国プールトイレほか改修機械設備工事（継続費） ・くりはま花の国プール改修その他電気設備工事（継続費） ・くりはま花の国プール自動制御設備ほか改修工事（繰越明許） ・サブアリーナ空調改修工事 ・西体育会館外灯改修工事 ・メインアリーナ煙突断熱材改修工事	・総合体育会館メインアリーナ付属棟屋上防水改修工事 ・くりはま花の国プール非常用発電機改修工事 ・北体育会館プール空調ダクト設備改修工事（継続費） ・西体育会館競技場天井改修その他工事	・南体育会館特定天井改修その他工事 ・総合体育会館サブアリーナレストラン空調設備改修工事 ・南体育会館非常用発電機改修工事
--	---	---

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	工事の内容や単価、件数によって、その年々の総経費に増減が生じる。
--------------------------------	----------------------------------

今後の事業 の方向性	施設の安全性や利用者の利便性向上のため必須事業である。今後においても優先度を鑑み予算計上を継続していく。
---------------	--

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	9	目	3	説明資料	72	項目番号	3(1)
-------	----	------	---	----	---	---	---	---	------	----	------	------

事務事業名	体育会館運営事務費	所管部課名	文化スポーツ観光部
			スポーツ振興課

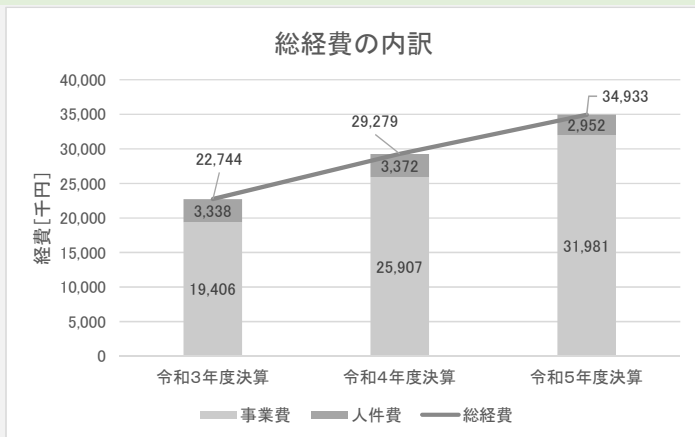
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	体育会館条例						
事業目的	市民へのスポーツ及びレクリエーション等の場の提供や、市民の健康増進のため体育会館等の施設整備を行う。					分野別計画	横須賀市スポーツ推進計画
具体的な事業内容	修繕、スポーツ用具等備品の購入、公共施設予約システムの通信機器の使用など、体育会館施設の運営にかかる事務費を計上し執行する。 体育会館施設：総合体育会館（メインアリーナ、サブアリーナ）、北体育会館、南体育会館（くりはま花の国プール含）、西体育会館（佐島の丘温水プール含）						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	19,406	25,907	31,981	32,312	千円
b 人件費	3,338	3,372	2,952	2,882	千円
正規職員	0.4	0.4	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.4	0.4	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	22,744	29,279	34,933	35,194	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

指定管理者選考委員会関係経費 84千円 修繕料 12,370千円 公共予約システム関連経費 782千円 業務委託 1,297千円 体育器具購入費 4,838千円 事務費 35千円	修繕料 17,733千円 公共予約システム関連経費 782千円 体育器具購入費 7,347千円 事務費 45千円	修繕料 19,412千円 公共予約システム関連経費 779千円 体育器具購入費 11,386千円 事務費 404千円
--	---	---

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	修繕、備品の内容や単価、件数によって、その年々の総経費に増減が生じる。 令和5年度は修繕、体育器具購入費の支出が増となったことが前年度と比較して増となった主な理由である。
------------------------------------	--

今後の事業 の方向性	施設の安全性や利用者の利便性のため必須の事業である。今後においても修繕や備品購入は緊急性や優先度を鑑み予算計上を継続していく。
-----------------------	--